

2018年度 中央学院大学  
商学部商学科

# 学生要覧

Commerce  
Business Administration  
International Business  
Accounting  
Economics  
Information Science  
Sports Career

2018  
Faculty of Commerce

## 建学の精神

### 公正な社会観と倫理観の涵養

## 教育理念

商学部は公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、  
徹底した少数教育を通じて実力と創造力を  
そなえた有能な社会人を育成することを目的とする

単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「商学部は公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする」。時代が大きく変わろうとしている今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。その様な状況のもと、教育理念という普遍のテーマをベースに、高度に多様化していく時代に対応すべく、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばしていくことを教育の原点としています。

## 学校法人 中央学院 沿革

明治 33 年 (1900 年)	「日本橋簡易商業夜学校」設立
明治 35 年 (1902 年)	「中央商業学校」開校
昭和 23 年 (1948 年)	商業学校を廃し新学制による「中央高等学校」を設置、 商業科、普通科を置く
昭和 26 年 (1951 年)	「学校法人中央学院」設置 「中央商科短期大学」設置
昭和 30 年 (1955 年)	「中央商業高等学校」設置
昭和 41 年 (1966 年)	「中央学院大学」商学部商学科設置 (千葉県我孫子市)
昭和 43 年 (1968 年)	「淡江大学 (台湾)」と合作交流協議書調印
昭和 45 年 (1970 年)	「中央学院高等学校」設置 (千葉県我孫子市)
昭和 51 年 (1976 年)	「メンフィス大学 (米国)」と姉妹校協定書調印
昭和 60 年 (1985 年)	「中央学院大学」法学部法学科開設
平成 10 年 (1998 年)	「中央商業高等学校」を「中央学院大学中央高等学校」と改称
平成 11 年 (1999 年)	「大邱大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 13 年 (2001 年)	「中央学院大学中央高等学校」を江東区亀戸に移転 「中央商科短期大学」廃止
平成 14 年 (2002 年)	法人創立 100 周年を迎える
平成 18 年 (2006 年)	「中央学院大学」大学院商学研究科開設
平成 20 年 (2008 年)	「京畿大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印 「我孫子市」と包括協定・覚書調印
平成 21 年 (2009 年)	「長春工業大学 (中国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 29 年 (2017 年)	「中央学院大学」現代教養学部現代教養学科開設

## 教育課程編成・実施の方針と学位授与の方針

### カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学商学部は、広い識見を持ち、複雑化する現代の様々な問題を解決しうる「実力と創造力をそなえた有能な社会人」の育成という教育目的を実現するため、以下のよう  
なカリキュラム(教育課程)を編成しています。

1. 豊かな人格形成の基本と基礎的な学力を養うため、数多くの人文・自然系科目、外国語科目、体育科目などを開設している他、法学部の科目を一部受講可能としています。
2. 大学での学びに必要な知識を身につけるため、1年次に必修の「プロゼミナール」を設けています。2年次からは各自の選択したコースでの専門教育や「演習」での研究テーマ追究から、4年次に卒業論文が完成するような科目体系となっています。
3. 実社会において即戦力となりうるよう、アクティブ・センター(生涯学習センター)で資格取得講座を各種開講しています。在学中に資格を取得した場合、受講料の優待・特待もあります。
4. 2年次からのコース選択制により、商学に関する授業科目を体系的に履修できるようにしています。
  - (1) 商学総合コースは、商学・経済・経営・会計の分野を横断し、幅広いフィールドで活かせる知識を修得したオールラウンドなビジネス・パーソンを育てます。
  - (2) 経営コースは、経営者としてまた企業の管理者として必要なスキルを体得した企業経営の専門家を育てます。
  - (3) 国際ビジネスコースは、国際的な企業情報や商取引の知識を修得したグローバル・ビジネスの専門家を育てます。
  - (4) 会計コースは、簿記会計や法人税務の知識を修得した財務の専門家を育てます。
  - (5) 経済コースは、経済学の基礎から企業経営、財政、経済政策など経済全般の知識を修得した企業の即戦力を育てます。
  - (6) 情報コースは、ビジネス界で求められる IT 技術と活用法を修得した情報管理の専門家を育てます。
  - (7) スポーツキャリアコースは、スポーツで身につけた経験や技術に加え、商学・スポーツ学の知識を修得することで、様々なフィールドで活躍できる人材を育てます。

### ディプロマポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学商学部は、「公正な社会観と倫理観の涵養」という建学の精神に根ざした教育を通して、卒業までに以下に挙げる事項を身につけ、所定の126単位以上を修めた学生に、学士（商学）の学位を授与します。

1. 異文化の理解
2. 文化・社会・自然の理解
3. コミュニケーション・スキル
4. 数量的スキル
5. 情報リテラシー
6. 論理的思考力
7. 問題解決力
8. 自己管理能力
9. リーダーシップ
10. 倫理観
11. 社会的責任
12. 生涯学習力
13. 課題解決力

# CONTENTS

## ■ 商学部

1. 商学部カリキュラム概要と特色	1
2. 授業科目について	4
3. 科目の履修方法	14
4. 試験・成績評価・卒業について	21
5. その他	24
6. 教職課程	28

**[巻末折り込み]** 商学部各コース科目表



# 1. 商学部カリキュラム概要と特色

## 1 学位

商学部で卒業要件を満たすことにより、以下の学位が授与されます。なお、学位の授与は卒業式（学位記授与式）で行われます。

**学士（商学）**

## 2 セメスター制

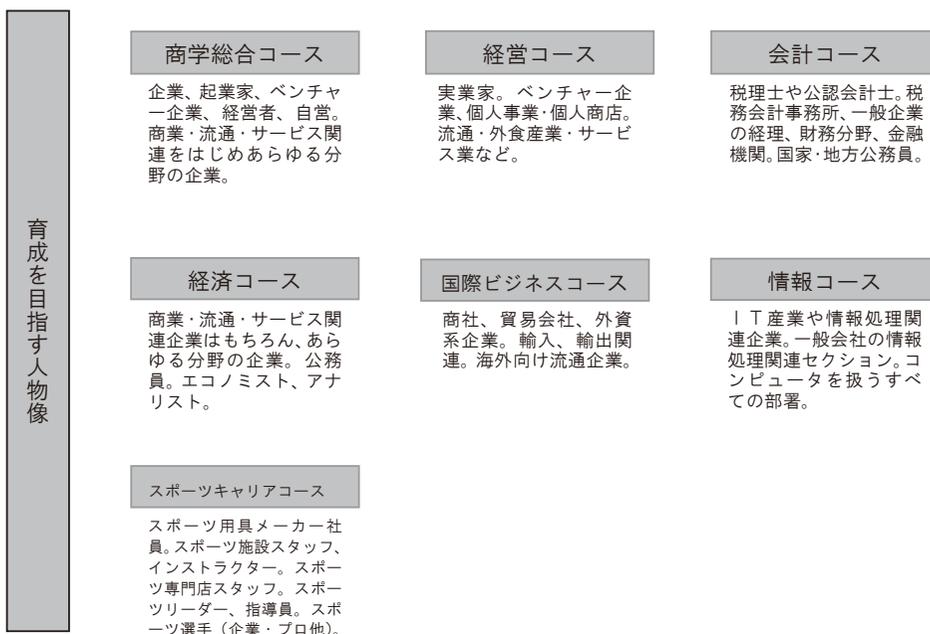
セメスター制とは、「学期制」の意味で、本学では1年間を春と秋の2学期に分け、それぞれの学期で授業が終了し、単位が認定されます。4月から始まる学期を「春セメスター」、10月から始まる学期を「秋セメスター」と呼びます。

## 3 修業年限

商学部の修業年限は4年間（8セメスター）です。休学期間を除き、8年間をこえて在籍することはできません。

## 4 コース制

商学部では7コースに分かれてのカリキュラムが用意されています。1年次では共通科目を学び、2年次から目的に合わせて各コースに分かれて学習します。



## 5 アカデミック・アドバイザー制度

本学の特徴である少人数教育の一環として、アカデミック・アドバイザーである教員が学生の大学生活について指導・助言を行う制度です。これは学生が入学から卒業まで安心して大学生活を送ることを目的としています。

1年次に必修科目として履修する「プロゼミナール」を担当した教員が、そのまま卒業するまで、アカデミック・アドバイザーとなります。

困ったこと、悩み事などがあったときは、まずアカデミック・アドバイザーに相談してください。

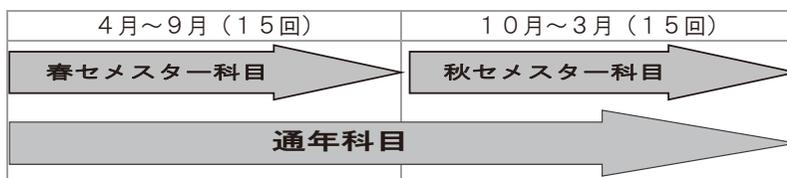
## 6 授業の形態と取得できる単位数

① 1科目の授業は毎週1回（90分）を標準とします。

② 科目の形態は大きく分けると「 Semester科目」「通年科目」に分かれます。

・「 Semester科目」とは、半期（ Semester） [週1回×15週]の科目をいいます。

・「通年科目」とは、1年間（春・秋 Semester） [週1回×30週]の科目をいいます。



・ 授業は通常週1回、講義、演習、または実技等の授業を実施します。

・ 科目によっては、「集中授業」という形で実施するものがあります。「集中授業」の場合、「 Semester科目」は15回分の授業を、「通年科目」は30回分の授業を、集中的に決まった期間に実施します。期間や申込方法などは、年度のはじめに実施されるガイダンスや掲示などでお知らせします。

③ 授業の形態は大きく分けると「講義」「実習」「ゼミナール（演習）」に分かれます。

・「講義科目」とは、担当教員が講義により実施する科目です。

・「演習科目」とは、担当教員の指導のもと、学生が自主的に学習する科目です。

④ 「単位」は、あらかじめ履修登録した科目について授業内容を理解し、試験や実技等の成績評価により合格することにより、所定の単位数が認定されます。

⑤ 「単位数」は以下のとおり設定しています。

形 態	Semester科目	通年科目
講 義	2 単位	4 単位
演 習		4 単位
プロゼミナール		2 単位
外 国 語	1 単位	
体 育	1 単位	
商学部入門講座 商学部卒業講座Ⅰ 商学部卒業講座Ⅱ		1 単位

## 7 授業時間

---

授業時間は、以下のとおりです。なお、**定期試験期間は時間が異なる**ので、定期試験開始1週間前に掲示される試験時間割の注意事項をよく確認してください。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00 ~10:30	10:40 ~12:10	12:50 ~14:20	14:30 ~16:00	16:10 ~17:40

## 8 教職課程

---

「教職課程」は中学校・高等学校の教員を目指す学生のための課程です。

所定の単位を修得することにより、中学校[社会]・高等学校[商業][情報][公民][地理歴史]の「教育職員免許状」を取得することができます。

「教育職員免許状」の取得を希望する学生は1年次から所定の科目を履修する必要があります。

P28「6. 教職課程」で履修の方法を確認して、学習をすすめてください。

## 2. 授業科目について

### 1 科目系列と卒業所要単位

学士（商学）の学位を取得するには、以下の科目系列ごとに卒業所要単位数（卒業に必要な単位数）を修得することが必要です。

なお、卒業所要単位数は126単位ですが、次の科目系列ごとに必要な単位数が不足している場合は卒業できません。不明な点は必ず教務課で確認してください。

科目系列	卒業所要単位数	
	分類	合計
[1] 商学系列科目	必修科目 4単位 コース選択必修科目 16単位 選択科目 72単位	92単位
[2] 人文・自然系列科目	必修科目 6単位 選択科目 20単位	26単位
[3] 外国語系列科目	必修科目 6単位	6単位
[4] 体育科目	必修科目 2単位	2単位
[5] 留学生科目	(留学生必修科目 4単位) (留学生選択科目 16単位)	—
[6] 教職科目	P28「6. 教職課程」を参照	—
卒業所要単位数 合計	[1]～[4]まで(留学生は[5]まで)の要件をそれぞれ満たし126単位以上	

「必修科目」とは

必ず単位を修得しなければ卒業できない科目です。不合格の場合、再び履修（再履修）をします。再履修には再履修料がかかります。（P16参照）

「コース選択必修科目」とは

コースごとに定められた科目です。コースの履修方法に従ってください。

「選択科目」とは

科目系列ごとに設置された「選択科目」から自由に科目を履修し、卒業所要単位数を満たす科目です。

「留学生科目」とは

留学生対象の科目です。留学生は「留学生必修科目」を修得しなければなりません、その代わりに履修免除の一般科目もあります。詳細についてはP9「[5]留学生科目」を参照してください。

「教職科目」とは

教育職員免許状を取得するための課程に設置された教職課程専用の科目です。原則として卒業単位にはなりません。詳細はP28「6. 教職課程」を参照してください。

※次ページより、各系列別に必修科目・選択科目の詳細を記載します。

※科目の内容、評価方法については、『講義要項（シラバス）』を参照してください。

## 2 科目系列ごとの履修科目

### [1] 商学系列科目

#### ① 必修科目（卒業所要単位：4 単位）

科 目 名		単位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
情報リテラシー	情報処理論	各 2 単位	1 年

#### ② コース選択必修科目（卒業所要単位：各セメスターで定められた単位数を満たし、合計 16 単位）

- ◆ 16 単位以上修得した場合は、その余剰単位分は商学系列選択科目の単位になります。
- ◆ 下記表中のコース選択必修科目の単位数は全て 1 科目 2 単位です。
- ◆ 各コースの必要単位数は、巻末の科目及び卒業所要単位数一覧を参照してください。

配当年次 コース	2 年次		3 年次		4 年次	
	春（第 3）セメスター	秋（第 4）セメスター	春（第 5）セメスター	秋（第 6）セメスター	春（第 7）セメスター	秋（第 8）セメスター
商学総合	商学総論 初級簿記 I マーケティング論	流通システム論 初級簿記 II マーケティング戦略論	経営学総論 I	経営学総論 II	流通戦略論 I	流通戦略論 II
経営	経営学総論 I 商学総論 近代商業史 初級簿記 I	経営学総論 II 流通システム論 現代商業史 初級簿記 II	経営管理基礎理論 経営組織論 I	経営管理応用理論 経営組織論 II	企業の財務活動	財務的意思決定
国際 ビジネス	国際貿易理論 国際ビジネス論	国際貿易政策 多国籍企業論	国際ビジネス戦略論 （理論編） 国際マーケティングの 基礎理論	国際ビジネス戦略論 （実践編） 国際マーケティング業務	ビジネスコミュニケーション論 国際ビジネス実務	異文化間コミュニケーション論 国際ビジネス実践
会計	中級簿記 I 上級簿記 I 会計学入門	中級簿記 II 上級簿記 II 会計制度論	財務諸表論	会計原則論	管理会計総論 法人税務会計	管理会計論 所得税務会計
経済	経済原論（近代経済学） I 経済原論（マルクス経済学）I 経済学史（経済学の誕生）	経済原論（近代経済学） II 経済原論（マルクス経済学）II 経済学史（経済学の発展）	入門公共経済学	応用公共経済学	近代経済政策 国際経済論 （世界経済の歴史）	現代経済政策 国際経済論 （世界経済の理論）
情報	コンピュータコミュニケーション プログラミング I（COBOL） プログラミング I（C） プログラミング I（Java）	アプリケーション論 プログラミング II （COBOL 応用） プログラミング II（C） プログラミング II（Java）	コンピュータの構成 情報環境論 データベース	システム設計論 ネットワーク論 Web データベース	シミュレーション e-コマース	経営科学 コンテンツ開発
スポーツ キャリア	スポーツキャリア実践講座 I フィットネス概論 I スポーツ指導論 I スポーツ組織論 I	スポーツキャリア実践講座 II フィットネス概論 II スポーツ指導論 II スポーツ組織論 II	スポーツキャリア実践講座 III スポーツ心理学 I スポーツ経営論 I	スポーツキャリア実践講座 IV スポーツ心理学 II スポーツ経営論 II	スポーツ広報論 I スポーツビジネス論 I	スポーツ広報論 II スポーツビジネス論 II
共通	<b>商学部入門講座（1 単位）</b> （配当年次は 1 年次） <b>商学部卒業講座 I・商学部卒業講座 II（各 1 単位）</b> （配当年次は 4 年次） ◆ コース選択必修科目が不合格になった場合、この講座を修得していれば不足している 1 単位分に振り替えられる。 また、コース選択必修科目を各セメスターの条件を満たし 16 単位分を合格した場合は、この講座を修得している場合の各 1 単位は選択科目の単位となる。					

③商学系列選択科目（卒業所要単位：72単位）

◆選択科目は自由に履修することができますが、P17～20「コース別履修モデル表」を参考に履修することを推奨します。

科 目 名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
商学総論	流通システム論	各2単位	1～4年
情報社会と倫理			
情報数学	経営数学		
情報科学概論	マルチメディア論		
初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ		
日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史		
民法総則	物権法	各2単位	2～4年
海外研修特別講座（事前研修）	海外研修特別講座（実地研修）		
会計情報論	会計情報システム論		
開発経済学	開発政策論		
株式会社と証券市場	経済と株価		
近代金融論	現代金融論		
近代日本経済論	現代日本経済論		
経済地理の諸問題	経済地理の諸研究		
経済法Ⅰ	経済法Ⅱ		
原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ		
広告論	広告政策論		
国際ビジネス環境論			
国際流通論	国際流通システム論		
債権法総論	債権法各論		
産業心理学	人事教育心理学		
市場論	市場戦略論		
社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ		
商業政策総論	流通政策論		
消費経済学（家計と企業）	消費経済学（家計と政府）		
商法総則・会社法総論	会社法各論		
情報と職業			
税法Ⅰ	税法Ⅱ		
ソフトウェア論			
手形・小切手法総論	手形・小切手法各論		
統計学	数理統計学		
入門国民所得論	応用国民所得論		
入門計量経済学	応用計量経済学		
ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」	ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」		
マーケティングシステム論	マーケティング情報論		
労働法の基礎	労働法の応用		
国際通貨	外国為替	各2単位	3～4年
監査制度論	監査報告論		
近代中小企業論	現代中小企業論		
財務諸表分析	企業評価論		
福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景		
労務管理	人事管理		
メディアデザイン		各2単位	3年
外国書講読1	外国書講読2		4年
外国書講読3	外国書講読4		
演習Ⅰ（通年）		各4単位	2年
演習Ⅱ（通年）			3年
演習Ⅲ（卒業論文指導）			4年

## [2]人文・自然系列科目

### ①必修科目（卒業所要単位：6単位）

科 目 名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
日本語表現Ⅰ	日本語表現Ⅱ	各2単位	1年
プロゼミナール（通年）		2単位	1年

### ②選択科目（卒業所要単位：20単位）

- ◆20単位以上修得した場合、その余剰単位分は商学系選択科目の単位になります。ただし、上限がありますので、P12「**10**単位の振り替えについて」を参照してください。
- ◆総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ等の履修については、P11「**9**アクティブセンターの講座」を参照してください。

科 目 名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
外国文化研究Ⅰ	外国文化研究Ⅱ	各2単位	1～4年
基礎法学	応用法学		
経済学Ⅰ	経済学Ⅱ		
言語学Ⅰ	言語学Ⅱ		
現代社会論Ⅰ	現代社会論Ⅱ		
憲法	法学		
自然科学概論Ⅰ	自然科学概論Ⅱ		
自然地理学Ⅰ	自然地理学Ⅱ		
社会学Ⅰ	社会学Ⅱ		
人文地理学Ⅰ	人文地理学Ⅱ		
心理学Ⅰ	心理学Ⅱ		
数学Ⅰ	数学Ⅱ		
スポーツ健康科学概論Ⅰ	スポーツ健康科学概論Ⅱ		
政治学Ⅰ	政治学Ⅱ		
生物学Ⅰ	生物学Ⅱ		
総合講座「アクティブセンター」Ⅰ	総合講座「アクティブセンター」Ⅱ		
総合講座「現代社会を考える」Ⅰ	総合講座「現代社会を考える」Ⅱ		
総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ	総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ		
総合講座「人間と自然」Ⅰ	総合講座「人間と自然」Ⅱ		
地学Ⅰ	地学Ⅱ		
地球環境論	自然環境論		
哲学Ⅰ	哲学Ⅱ		
日本語操作法Ⅰ	日本語操作法Ⅱ		
物理学Ⅰ	物理学Ⅱ		
文学演習Ⅰ	文学演習Ⅱ		
文化人類学Ⅰ	文化人類学Ⅱ		
倫理学Ⅰ	倫理学Ⅱ		
歴史学（世界史）Ⅰ	歴史学（世界史）Ⅱ		
歴史学（日本史）Ⅰ	歴史学（日本史）Ⅱ		
論理学Ⅰ	論理学Ⅱ		
平和学Ⅰ	平和学Ⅱ		

### [3]外国語系列科目

#### ① 必修科目（卒業所要単位：6単位）

分類	科 目 名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英 会 話	英語リスニング・スピーキング (LL)	各1単位	1年
	英語リーディング・ライティング1	英語リーディング・ライティング2		
	総合英語 1	総合英語 2		2年

#### ② 選択科目（卒業所要単位：0単位）

◆外国語系列の選択科目は、同一言語の4単位を揃えて修得していることを条件に、商学系列選択科目の単位とする（単位の振り替えをする）ことができます。

ただし、第二外国語はいずれか1言語のみが卒業単位の対象となります。また、全体の振り替え単位数に上限がありますので、P12「10単位の振り替えについて」を参照してください。

なお、卒業単位にははならずとも、複数言語を履修することはできます。

◆外国語系列の選択科目は、1～4まで順番に同じ言語を履修してください。

分類	科 目 名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英語特別講座 1	英語特別講座 2	各1単位	2～4年
	英語特別講座 3	英語特別講座 4		3・4年
	英語上級講座 1	英語上級講座 2		2～4年
	英語上級講座 3	英語上級講座 4		3・4年
第二外国語 ※卒業単位として振り替えられる対象は1言語のみ。	ドイツ語 1	ドイツ語 2	各1単位	1～3年
	ドイツ語 3	ドイツ語 4		2～4年
	フランス語 1	フランス語 2		1～3年
	フランス語 3	フランス語 4		2～4年
	中国語 1	中国語 2		1～3年
	中国語 3	中国語 4		2～4年
	コリア語 1	コリア語 2		1～3年
	コリア語 3	コリア語 4		2～4年

### [4]体育科目

#### ① 必修科目（卒業所要単位：2単位）

科 目 名	単位	配当年次	
			春semester
健康スポーツ実技 I	健康スポーツ実技 II	各1単位	1年

#### ② 選択科目（卒業所要単位：0単位）

◆体育科目は全て実技です。保健体育科目としては、人文・自然系列科目「スポーツ健康科学概論 I・II」があります。

◆体育科目の選択科目の合計4単位を全て修得した場合に限り、商学系列選択科目の単位とすることができます。

◆体育科目の選択科目は全て1単位です。

科 目 名	単位	配当年次	
			春semester
スポーツ文化実技 I	スポーツ文化実技 II	各1単位	2～4年
生涯スポーツ実技 I	生涯スポーツ実技 II		

## 【5】留学生科目

- ◆留学生は以下の必修科目を修得しなければなりません。
- ◆留学生以外の学生は履修できません。
- ◆以下の単位は、最大16単位までを人文・自然系列選択科目に振り替えます。

### ① 必修科目（卒業所要単位：4単位）

科 目 名		単 位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
日本事情A	日本事情B	各2単位	2年

### ② 選択科目

科 目 名		単 位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
日本語読解1	日本語読解2	各1単位	1～4年
日本語作文1	日本語作文2		
日本語表記1	日本語表記2		
日本語会話1	日本語会話2		
日本語特講1	日本語特講2		
日本語理解1	日本語理解2		
日本語上級1	日本語上級2	各1単位	2～4年
日本語上級3	日本語上級4		

## 【3】商学部入門講座

商学の幅広い領域を見渡し、商学が日常生活とどう関わっているのかを学ぶ授業として1年次に「商学部入門講座」を設置しています。商学の楽しさを知り、2年次から各コースで学べる内容を知ること、自分の学びたいことを発見し、自分に最適なコースを選択できるようになります。7コースの担当教員がオムニバス形式で授業をおこないます。

なお「商学部入門講座」の単位を修得していれば、コース選択必修科目を履修し不合格だった場合に、この講座の単位（1単位）を振り替えることができます。コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たしている場合には、この講座の単位は商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

## 【4】プロゼミナール

1年次の必修科目として設置されている「プロゼミナール」は、大学生活に適応し、専門的知識の学習に備えるための科目です。少人数のクラスを編成し、アカデミック・アドバイザーが指導と助言を行います。教養を深め、専門知識を学ぶために必要な学習方法を学ぶとともに、アカデミック・アドバイザーやクラスの仲間とのコミュニケーションによって、社会的スキルと常識を身につけます。

## 【5】演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（ゼミナール）

「演習（ゼミナール）」とは、同じ研究テーマに関心を持つ学生が、数名から20名程度集まり、教員の指導やアドバイスを受けながら自主的に研究を進めていく授業のことです。

この科目は2年次からの選択科目です。希望の研究分野について、卒業までの3年間をかけて学習を進めていきます。履修の流れは以下のとおりです。

- ①1年次の秋セメスターに開かれる演習説明会に出席。
- ②各演習の研究内容（担当教員によって研究内容が異なります）配布。
- ③希望の研究内容の「演習（ゼミナール）」に応募。
- ④「演習（ゼミナール）」の選考を受験。
- ⑤選考結果発表。合格者は確定。
- ⑥選考にもれた場合は、二次・三次募集に応募・選考受験。
- ⑦許可にならなかった場合にも二次・三次の選考が受けられます。
- ⑧2年次から「演習Ⅰ（4単位）」を履修。

なお、3年次からは「演習Ⅱ（4単位）」、そして4年次には「演習Ⅲ（4単位）」と、原則として同一の研究内容（担当教員）で継続して履修することになります。

また、この科目は通年科目です。「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」について、それぞれ履修年度ごとに4単位を取得できます。

## 6 商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）・商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）

「商学部入門講座」と対をなす科目として、4年次の履修科目「商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）」「商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）」を設置しています。4年間学んだことがどのように機能しているかを、OB／OGを大学に招き講座内で講演していただくことによって学ぶものです。実践教育を重視する本学教育理念の集大成をはかる授業です。

なお、「商学部卒業講座（学友会講座）」はコース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

## 7 B J P（ベスト・ジョブ・プログラム）

本講座は、就職活動に向けたプログラムを1年の後期から3年の後期にかけて行っていくものです。社会や仕事に関する知識を増やしていき、就職活動に向けた準備を着実に進めていきます。

◎プログラム参加資格：1年春セメスターに100名程を選抜。やる気がある学生であれば、誰でも受講するチャンスあり。

### BJP（1年秋セメスター）※定員100名

社会や仕事に関する知識、資格取得に関する知識を増やし、将来の仕事について考えていきます

### キャリアデザインⅠ（2年春セメスター）※定員100名

大学の学びと社会のつながり、自分について考え、就職活動に向けた行動計画を立てていきます

### キャリアデザインⅡ（3年春セメスター）※定員50名

最近増える傾向にある、大学在学中の企業での就業体験（インターンシップ）。このインターンシップに参加するための準備を進めていきます

### キャリアデザインⅢ（3年秋セメスター）※定員50名

本格的な就職活動に向けた準備を進めていき、学外に出て自分で活動できる自信をつけていきます

## 8 BLP（ビジネス・ライセンス・プログラム）

アクティブセンターで開講されている講座を受講することで資格取得を目指し、さらに商学系列の共通選択科目の単位を取得することが可能です。以下のような科目の単位が認定されます。「資格取得講座Ⅰ」「資格取得講座Ⅱ」に該当する講座は、各年度のシラバスで確認してください。単位認定基準は講座ごとに異なります。履修方法などの詳細は教務ガイダンスでお知らせします。

- 資格取得講座（日商簿記2級）（4単位）
- 資格取得講座（日商簿記3級）（4単位）
- 資格取得講座（カラーコーディネーター3級）（2単位）
- 資格取得講座（行政書士）（4単位）
- 資格取得講座（宅地建物取引士）（4単位）
- 資格取得講座（秘書技能検定2級）（2単位）
- 資格取得講座（MOS Word）（2単位）
- 資格取得講座（MOS Excel）（2単位）
- 資格取得講座（FP3級）（4単位）
- 資格取得講座（経営学検定（初級））（2単位）
- 資格取得講座Ⅰ（2単位）
- 資格取得講座Ⅱ（2単位）

## 9 アクティブセンターの講座 (総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ)

受講の方法・講座の内容・開講時期などの詳細は、ホームページ(大学ホームページから見ることができます)で確認してください。本学では通常のカリキュラムの他に、社会人・学生を対象とした公開講座(以下[1]センターコース)、資格取得講座(以下[1]アドバンストコース)を開講しています。このアクティブセンターの講座について、本学の学生には受講料を補助する制度があります。

受講の方法・講座の内容・開講時期などの詳細は、ホームページ(<http://www.cgu.ac.jp/active>)及び本館5階アクティブセンター窓口で確認してください。

### [1]センターコース

資格取得講座以外にも地域及び社会人向けの多種多様な講座を開講しています。本学の学生は補助制度によりリーズナブル料金で受講できます。詳細についてはアクティブセンター窓口にてご確認ください。

また、次の講座は、“総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2単位)・Ⅱ(2単位)”の科目の単位として振り替えることができ、卒業所要単位とすることができます。

アクティブセンター講座名	総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱへの振替単位数
経済の動向と家庭	前期をⅠに2単位、後期をⅡに2単位
ボランティア・アクティビティ	前期をⅠに2単位、後期をⅡに2単位

講座の開講時間は4月に配布される時間割に記載されます。

### [2]アドバンストコース(各種資格取得講座)

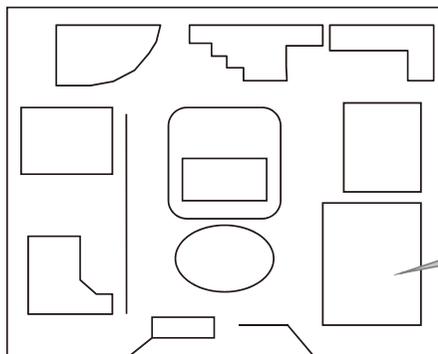
各種資格取得講座の受講料が**一般社会人の1/2の金額**で受講できます。国家試験合格者には受講料全額補助、他の資格試験合格者には納入した受講料の1/2補助の制度があります。詳細はアクティブセンターまでお越しください。

単位取得可能な講座もあります。詳細はP10「**7**BLP(ビジネス・ライセンス・プログラム)資格取得講座」を参照してください。

開講講座は変更になることがあります。

講座により開講時期が異なります。

### [3]アクティブセンターの場所と問い合わせ先



**アクティブセンター**  
中央学院100周年大学記念館5階  
TEL: 04-7183-6529  
<http://www.cgu.ac.jp/active/>

## 10 単位の振り替えについて

### [1] 商学系列選択科目への単位の振り替え

以下の単位を最大24単位まで商学系列選択科目の単位として振り替えることができます。

商学系列選択科目へ振り替えできる単位

No.	項目	振り替えの上限単位数	
①	法学部設置科目（4科目まで）	16単位まで	合計 24単位 まで
②	人文・自然系列科目の余剰単位		
③	千葉県単位互換協定に基づく 他大学（放送大学を含む）での修得単位		
④	英語特別講座1～4 （4単位全て修得していること）	4単位	
⑤	英語上級講座1～4 （4単位全て修得していること）	4単位	
⑥	外国語科目の選択科目のうち、第二外国語 （同一言語で4単位修得していること）	4単位	
⑦	体育科目の選択科目（4単位全て修得していること）	4単位	
⑧	教職科目のうち指定科目	12単位まで	

#### ①法学部設置科目

法学部設置の下記の科目のうち、16単位（4科目）を上限に履修することができます。

法学部科目は全て「通年科目」であり、1年間履修しなければ単位は取得できません。

開講される科目及び担当教員は毎年4月に配付される『講義時間割』及び『講義要項（シラバス）』に掲載されますので、確認して履修登録してください。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
憲法Ⅰ（人権）	4	1～4年	外国法（アジア法）	4	3・4年
企業取引法	4	1～4年	行政学	4	3・4年
企業法概論	4	1・2年	刑事政策	4	3・4年
憲法Ⅱ（統治）	4	2～4年	日本法制史	4	3・4年
会社法	4	2～4年	法哲学	4	3・4年
刑法総論	4	2年	有価証券法	4	3・4年
債権法各論	4	3年	民事訴訟法	4	3・4年
スポーツ文化論	4	3年	刑事訴訟法※	4	3・4年
スポーツ・リスクマネジメント論	4	3年			
地方自治論	4	3・4年			

※刑事訴訟法を履修するためには、憲法Ⅰ（人権）及び刑法総論の単位を修得していること

#### ②人文・自然系列科目の余剰単位

卒業所要単位を超過して修得した単位数をさします。

#### ③千葉県単位互換協定に基づく他大学（放送大学を含む）での修得単位

千葉県内の単位互換協定締結校で単位を修得することができます。主に3月下旬に、各大学より送付される募集要項は、教務課で閲覧することができます。最大履修単位数の範囲であれば、卒業までに30単位を上限に履修登録できます。詳細については、教務課に問い合わせてください。

④科目についてはP8「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑤科目についてはP8「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑥科目についてはP8「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑦科目についてはP8「[4] 体育科目」を参照してください。

### ⑧教職科目のうち指定科目

- ◆「教職科目」のうち、下記の科目12単位を限度として商学系列選択科目へ振り替えの対象とします。
- ◆下記の科目は全て2単位です。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
日本史概説Ⅰ	2	1年	日本史概説Ⅱ	2	1年
外国史概説Ⅰ	2	1年	外国史概説Ⅱ	2	1年
日本史特論Ⅰ	2	1年	日本史特論Ⅱ	2	1年
人文地理学概論	2	1年	地誌学概説	2	1年
自然地理学概論Ⅰ	2	1年	自然地理学概論Ⅱ	2	1年

### [2] コース選択必修科目の余剰単位

コース選択必修科目を、各セメスターの修得単位数要件を満たし16単位以上修得した場合、その余剰単位は商学系列選択科目に振り替えます。

### [3] 商学部入門講座・商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱ

コース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこれらの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

科目についてはP9「**3**商学部入門講座」・P10「**6**商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）・商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）」を参照してください。

### [4] アクティブセンターの講座

アクティブセンターで開講している講座を、人文・自然系列選択科目の科目“総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ”に振り替えることができます。

科目についてはP11「**9**アクティブセンターの講座」を参照してください。

## 3.科目の履修方法

### 1 科目の履修方法

多くの科目は自由に選択することができます。そのため、自分で履修する科目を決め時間割を作成しなければなりません。

そして、履修科目を決めた後、科目の担当教員に履修の意思を伝える必要があります。この手続きを「履修登録」といいます。**履修登録をしなければ、単位を修得することができません。**

#### 1. 履修登録の時期

履修登録は、各セメスターの初めに行います。指定された期間に登録をしなければ、授業を受けることができません。履修登録日は毎年度配布される『講義要項(シラバス)』に記載の「学年暦」に掲載します。また、時間・場所などの詳細は、ガイダンスや教務課掲示板でお知らせします。

#### 2. 履修登録の条件

履修登録にはいくつかの条件があります。次のような条件を満たさないと登録はできません。

##### ◆配当年次

配当年次に達していない場合は履修登録することができません。配当年次に従って履修します。

##### ◆クラス指定・時間割指定

各年度の初めに配布される『講義時間割』を見て科目を履修しますが、クラスごとに履修科目の曜日や時限が決められていることがあります。

##### ◆授業科目ごとの条件

授業科目によって他科目の履修などを条件としている科目があります。『講義要項(シラバス)』にそれぞれ記載されますので、履修登録しようとする科目については必ず参照してください。

##### ◆再履修科目

「再」と記載がある科目は、その科目の再履修者専用です。

## ◆最大履修単位数

年間の学修が無理なくできるように、履修可能な単位数には、セメスターごとに上限があります。履修登録の際には(1)の最大履修単位数を守ってください。

(1) 1年間に履修できる**最大履修単位数**は次の通りです。

学 年	春セメスター	秋セメスター
1 年次	2 5 単 位	2 6 単 位 + 再 2 単 位
2 年次	2 0 単 位 + 再 4 単 位	2 0 単 位 + 再 4 単 位
3 年次	2 0 単 位 + 再 4 単 位	2 0 単 位 + 再 4 単 位
4 年次	2 0 単 位 + 再 4 単 位	2 0 単 位 + 再 4 単 位

※再は必修科目の再履修を指します。(コース選択必修科目は再の単位数には含みません。)  
 ※通年科目の単位数は、最大履修単位数の計算上、各セメスターで半分ずつカウントします。  
 ※セメスター科目の集中授業は、実施時期のセメスター単位にカウントします。  
 ※商学部入門講座の単位数は、秋セメスター単位にカウントします。

(2) 次のような履修登録はできません。

- ① すでに単位を修得している科目を再び履修すること。
- ② 上級年次に配当されている科目および下級年次に新設された科目を履修すること。
- ③ 学年・クラスが指定されているにもかかわらず、自己の都合で指定以外の学年・クラスで同一の科目を履修すること。
- ④ 同一時限に2科目以上を履修すること。

(3) 履修届提出上の注意

- ① 履修届の提出日時・場所についてはガイダンスおよび教務課掲示板でお知らせします。指定の日時以外は受け付けません。(指定の日時に提出できない理由のある者は、あらかじめ教務課で相談してください)
- ② 一度登録した科目および担当教員を自己の都合で変更することはできません。なお時間割、担当教員が変更された場合は教務課掲示板にてお知らせします。その場合は教務課の指示内容の範囲で変更が認められます。
- ③ **履修取消**は、決められた期間内に、教務課で手続きをしなければなりません。ただし、必修科目と演習は取り消しができません。詳細は、教務課掲示板で確認してください。なお、取り消した科目の代わりに他の科目を追加することはできません。
- ④ **履修届用紙の取り扱い**については、次のことを厳守してください。
  - A. 用紙を折り曲げたり汚したりしない。
  - B. HBのシャープペンや鉛筆を使用する。万年筆、ボールペン等は使用しない。
  - C. 誤記入の場合は、消しゴムできちんと消す。
- ⑤ **履修方法に関する疑問**は教務課で確認してください。疑問点をそのままにしておき、自己判断で誤った履修をすると卒業できなくなる場合がありますので、必ず**教務課で相談してください**。
- ⑥ 履修届の提出は本人が行ってください。履修届の提出時には教務課員が個別に確認・説明をする場合もあるので、必ず本人が提出してください。
- ⑦ 千葉県単位互換協定に基づく他大学(放送大学を含む)での修得単位  
 千葉県内の単位互換協定締結校で単位を修得することができます。3月下旬に各大学より送付される募集要項は、教務課で閲覧することができます。最大履修単位数の範囲内であれば、卒業までに30単位を上限に履修できます。詳細については、教務課に問い合わせてください。

## 2 履修登録方法

履修する授業を決めたら、以下のように進めてください。

### ① 授業に出席する。

履修科目は授業開始日までに決め、授業開始日からその授業に出席します。教室は『講義時間割』に記載されています。また、教室変更がある場合は、随時教務課掲示板に掲載しますので、毎日掲示板を確認しましょう。なお、最初の授業で人数制限や抽選をするものもあります。詳細はガイダンスや掲示などでお知らせします。

### ② 履修科目を「履修届」に記入する。

「履修届」には、そのセメスター該当欄に、確定した科目名・担当教員名・コードを『講義時間割』で確認し、鉛筆で記入します。

※コードと教室は同じ3桁です。間違いのないように注意してください。

※コードは主に「3□□」が春セメスター科目、「4□□」が秋セメスター科目、「0□□」が通年科目等となっています。

※集中講義も漏らさず記入してください。通年科目の集中講義は春セメスターに、セメスター科目の集中講義は、実施するセメスターにそれぞれ登録してください。

### ③ 「履修届」は、必ず本人が指定された日時に提出する。

「履修届」の提出日時は学部・学年ごとに指定されます。教務課掲示板等で日時と履修登録会場をお知らせします。

記入した「履修届」を、指定の日時に履修登録会場へ持参し、その場で履修登録をします。登録できない科目を記載した場合には、再度履修届を記入し、登録をやり直してください。

また、**必修科目の再履修**（コース選択必修科目は含まない）を履修する場合、履修登録には1科目につき1,500円（**再履修料**）がかかります。履修登録会場で納入してください。

以上で履修登録は完了です。

◆履修登録をした科目の変更はできません。

◆履修登録に関する疑問点は事前に教務課に相談してください。

## 3 履修取消について

教務課で手続きをすれば、履修登録した科目の取消ができます。前期及び通年科目は5月、後期科目は10月に取り消しの手続きを受け付けます。但し、必修科目と演習は取り消しができません。詳しい日時等については、教務課掲示板で確認してください。尚、取り消した場合でも代替りの科目を追加することはできません。

#### 4 コース別履修モデル表

コース別の履修推奨科目です。履修を選択する際の参考にしてください。

商学総合コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学総論(2)		民法総則(2)		物権法(2)			
流通システム論(2)		民法総則(2)		物権法(2)			
商学系列科目		演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)	演習Ⅲ(4)			
		広告論(2)	広政政策論(2)	株式会社と証券市場(2)	経済と株面(2)	市場論(2)	市場戦略論(2)
		近代金融論(2)	現代金融論(2)	経済原論(近代経済学)Ⅰ(2)	経済原論(近代経済学)Ⅱ(2)	債権法総論(2)	債権法各論(2)
		商法総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	会計学入門(2)	会計制度論(2)	国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)

(注1)「演習」は通年科目

経営コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学系列科目		民法総則(2)		マーケティング論(2)		マーケティング戦略論(2)	
		マーケティング論(2)		マーケティング戦略論(2)			
		産業心理学(2)	人事教育心理学(2)	商業総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	シミュレーション(2)	経営科学(2)
		演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)	演習Ⅲ(4)			
		外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	外国書講読5(2)	外国書講読6(2)
		労務管理(2)	人事管理(2)	国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)	財務諸表分析(2)	企業評価論(2)

(注1)「演習」は通年科目

## 国際ビジネスコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
商学総論(2) 初級簿記 I (2)	流通システム論(2) 初級簿記 II (2)	国際ビジネス環境論(2)	演習 I (4)	演習 II (4)	マーケティング論(2)	マーケティング戦略論(2)	国際流通システム論(2)		
商学系列科目		演習 I (4)	演習 II (4)	演習 III (4)	演習 IV (4)	演習 V (4)	演習 VI (4)	演習 VII (4)	
		外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	外国書講読5(2)	外国書講読6(2)	外国書講読7(2)	
		近代金融論(2)	現代金融論(2)	民法総則(2)	民法総則(2)	物権法(2)	物権法(2)	物権法(2)	物権法(2)
		商法総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	経済学総論 I (2)	経済学総論 II (2)	外国為替(2)	外国為替(2)	会計学入門(2)	会計学入門(2)
		会計制度論(2)	国際通貨(2)	経営管理基礎理論(2)	経営管理基礎理論(2)	国際経済論(世界経済の歴史)(2)	国際経済論(世界経済の理論)(2)		

(注1)「演習」は通年科目

## 会計コース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
初級簿記 I (2) 商学総論(2)	初級簿記 II (2) 流通システム論(2)	演習 I (4)	演習 II (4)	演習 III (4)	演習 IV (4)	演習 V (4)	演習 VI (4)	演習 VII (4)	
商学系列科目		◎原簿計算論 I (2)	◎原簿計算論 II (2)	◎会計情報論(2)	◎会計情報システム論(2)	◎税法 I (2)	◎税法 II (2)	◎税法 III (2)	
		商法総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	手形・小切手法総論(2)	手形・小切手法各論(2)	民法総則(2)	民法総則(2)	物権法(2)	物権法(2)
		債権法総論(2)	債権法各論(2)	統計学(2)	数理統計学(2)	外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)
				◎財務諸表分析(2)	◎企業評価論(2)	◎監査報告論(2)	◎監査報告論(2)	◎監査報告論(2)	◎監査報告論(2)

(注1)「演習」は通年科目

(注2) ◎は会計コースとして特に履修を推奨する科目

経済コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
民法総則(2) 物権法(2)							
日本古代・中世経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2)							
演習Ⅰ(4)		演習Ⅱ(4)		演習Ⅲ(4)			
商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		外国書講読Ⅰ(2)		外国書講読Ⅲ(2)	
商学総論(2)		流通システム論(2)		入門国民所得論(2)		経済地理の諸問題(2)	
入門計量経済学(2)		応用計量経済学(2)		株式会社と証券市場(2)		消費経済学(家計と企業)(2)	
市場論(2)		市場戦略論(2)		近代金融論(2)		統計学(2)	
社会政策Ⅰ(2)		社会政策Ⅱ(2)		経済法Ⅰ(2)		債権法総論(2)	
労働法の基礎(2)		労働法の応用(2)		近代日本経済論(2)		開発経済学(2)	
		国際貿易理論(2)		国際貿易政策(2)		福祉国家の歴史的背景(2)	
		国際通貨(2)		外国為替(2)		手形・小切手法各論(2)	
		近代中小企業論(2)		現代中小企業論(2)			

商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

情報コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
情報数学(2) 初級簿記Ⅰ(2)							
情報科学概論(2) マルチメディア論(2)							
演習Ⅰ(4)		演習Ⅱ(4)		演習Ⅲ(4)			
統計学(2)		数理統計学(2)		ソフトウェア論			
		経営学総論Ⅰ(2)		経営学総論Ⅱ(2)		会計学入門(2)	
		情報環境論(2)		ネットワーク論(2)		メディアデザイン(2)	
						マーケティングシステム論(2)	
						マーケティング情報論(2)	

商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

(注2)「プログラミングⅠ(C)・プログラミングⅡ(C)」を履修する学生は、前年次に「情報科学概論・マルチメディア論」を修得すること

(注3)「プログラミングⅠ(Java)・プログラミングⅡ(Java)」を履修する学生は、「ソフトウェア論・アプリケーション論」も履修すること

スポーツキャリアコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学系 科目	商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2)	広告論(2) マーケティング論(2)	広告政策論(2) マーケティング戦略論(2)	産業心理学(2) 社会政策Ⅰ(2) 会計学入門(2)	人事教育心理学(2) 社会政策Ⅱ(2) 会計制度論(2)	市場論(2) 国際ビジネス論(2)	市場戦略論(2) 多国籍企業論(2)
法学部 開講科目							経営学総論Ⅰ(2) 流通戦略論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 流通戦略論Ⅱ(2)
					*スポーツ文化論(4)	*スポーツ・リスクマネジメント論(4)		

(注1)「スポーツ文化論」「スポーツ・リスクマネジメント論」は通年科目

(注2) \*は法学部開講科目

## 4. 試験・成績評価・卒業について

### 1 評価の方法

各セメスター終了時に、**成績評価**を行います。

**成績評価**の方法には以下のような形態があります。

- (1) 定期試験
- (2) レポート作成
- (3) 出席・小テストなど

定期試験については、**担当教員の指示**により受験してください。

なお、**定期試験の時間割**は、定期試験開始の1週間前に**教務課掲示板**へ掲示します。

### 2 単位認定・GPAについて

#### 1. 単位認定について

単位認定の結果は、「秀・優・良・可・不可」で表し、「秀・優・良・可」は合格とし所定の単位が与えられますが、「不可」は不合格とし単位不認定となります。

評価	素点	GP
秀	90 点以上	GP 4.0
優	89～80 点	GP 3.0
良	79～70 点	GP 2.0
可	69～60 点	GP 1.0
不可	59 点以下	GP 0.0

#### 2. GPA(Grade Point Average)について

GPAとは、各科目の成績から特定の方法によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことをいいます。留学の際など学力を測る指標となります。100点を満点として成績評価される(秀～不可の成績がつく)科目が対象となります。

GPAの算出方法は、履修登録した各授業科目の単位数にそれぞれのGPを掛けた値の合計を、単位数の合計(不可も含む)で割った数値となります。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) + (GP \times \text{単位数}) + (GP \times \text{単位数}) + \dots}{\text{単位数の合計(不可も含む)}}$$

#### 3. 成績発表について

成績発表は、春に実施されるガイダンス当日に「学業成績簿」を配付します。新年度の履修は主にこの成績を基に選択・履修していくこととなります。また、保証人宛にも「学業成績簿」を郵送します。

### 3 定期試験の受験資格

定期試験を受験するには、原則として以下の条件が必要です。

1. 履修登録していること。
2. 授業の3分の2以上出席していること。  
(病気、忌引等止むを得ない理由で授業を欠席した場合は、学生課に欠席届を提出してください)
3. 授業料を納入していること。

### 4 定期試験受験上の注意事項

以下は基本的な注意事項です。科目によって、多少異なる場合もあります。担当教員・監督者の指示に従ってください。

1. 学生証を机上に提示してください。  
(学生証を忘れた場合、試験期間中1回(当日)に限り、教務課で「受験許可証」を発行します)
2. 15分以上遅刻すると受験できません。また、20分以上経過しないと試験会場から退室できません。退室の場合は必ず答案用紙を提出してください。

**※試験期間中の自動車・バイク通学での遅刻は理由になりません。(P. 24「遅延証明書について」)**

3. テキストやノート等、持込参照物は担当教員の指示に従ってください。
4. 不正行為、または不正と思われる紛らわしい行為に対しては全受験科目無効など厳しく対処します。
5. 携帯電話等の電源は必ず切って、かばん等にしまってください。(時計としての使用不可)  
(キャンパスガイド「学内関係規程・内規等」の「試験不正行為取締懲戒規程」参照)

### 5 追試験について

病気その他、止むを得ない理由により定期試験を受けられなかったと認められる場合を対象に、各セメスター末に1回のみ追試験を行います。

なお、受験には**所定の手続き**が必要になります。**教務課掲示板**に掲示されますので、その指示に従ってください。追試験の手続きに必要なものは以下のとおりです。

1. 追試験受験願(申込会場で配付)
2. 定期試験を受験できなかった理由となる**証明書類**  
(例)◆傷病……医師の診断書または病院の領収証等  
◆交通障害……遅延証明書・事故証明書等  
◆忌引……会葬礼状等  
◆就職試験(面接を含む)…受験先企業が受験の事実を証明した書類  
＜就職試験(面接)前に教務課で専用用紙を受け取ること＞
3. 追試験受験料は1科目2,000円  
また、追試験受験の際は、**学生証**と申込時の**領収証兼受験許可書**が必要となります。

## 6再試験について

1～3年次においては、**原則として必修科目(当該履修年度科目のみ)が不合格となった場合、1回のみ再試験**を受けることができます。

また、4年次においては、**原則として不合格となった全科目(当該履修年度科目のみ)に対して1回のみ再試験**を受けることができます。

なお、受験には**所定の手続き**が必要になります。**教務課掲示板**に掲示されますので、その指示に従ってください。再試験の条件等は以下のとおりです。

1. 出席不足などで再試験停止となった科目は申し込みできません。
2. **再試験受験料**は1科目2,000円です。
3. 試験の際は、**学生証**と申込時の**領収証兼受験許可証**が必要となります。
4. 評価は「可」又は「不可」のいずれかとなり、「秀」・「優」・「良」はつきません。

## 7成績調査申請

成績評価(秀・優・良・可・不可)を受けた科目の中で、自身のレポート提出状況、試験の解答等から判断して成績評価に疑問がある場合には、成績についての調査を申請できます。

申請手続は、掲示板で案内を確認してください。

## 8単位修得不足に関する措置

1・2年次において単位が十分に修得できないと、その後の学年での勉学に大きな負担となるだけでなく、4年間で卒業が困難になることもあります。商学部では4年間で卒業できるように注意を喚起するため、修得単位の少ない学生には以下のように対応します。

以下のような警告等を受けることのないよう1年次から計画的に勉学に取り組んでください。

1. 1・2年次において、単位の修得が十分でない学生には、下記の基準により警告を行います。また、必要に応じて個別の指導を行います。
2. 2年次以降、未修得の必修科目は再履修し、単位を修得しなければなりません。

1年次終了時の修得単位数が20単位に達しない場合	成績不良注意
2年次終了時の修得単位数が46単位に達しない場合	成績不良注意勧告

※なお、3年次終了時に78単位以上修得していないと4年間で卒業することはできません。(78単位以上を修得していても、必修科目および系列科目の単位が不足している等の場合には卒業できないこともあります。)

## 9卒業

以下の条件を満たすと、卒業となります

1. 4年以上8年以内の**在学期間**(休学期間を除く)があること。
2. 体系的に教育課程を履修・修得し、卒業所要単位として126単位以上を修得していること。なお、**卒業時期**は、各セメスターの終了する**9月と3月**です。
3. 本学では、4年を超えて在学し、卒業所要単位を修得した場合には、9月卒業が可能です。なお、通常進級した新4年生は、9月末までの在学期間は3.5年ですので、9月卒業はできません。

## 5.その他

### 1 学生への連絡について

本館1階の掲示板に以下のような連絡事項について掲示します。毎日掲示板を確認してください。

※**掲示板の見落としによる不利益は学生本人が負う**こととなりますので注意してください。

1. 教室の変更
2. 授業の休講・・・科目の担当教員に、病気・出張等のやむを得ない事情が生じた場合、授業を休講とする場合があります。休講情報は、学内の休講情報モニターおよび大学ホームページより確認できます(大学ホームページTOP → キャンパスライフ → 授業・試験について → Web 休講掲示板)。ID パスワードは、教務課掲示板を確認してください。
3. 授業に関する連絡事項
4. 呼び出し
5. その他、必要な連絡事項

### 2 学生による授業評価アンケート

本学では、科目ごとに「授業評価アンケート」を実施します。以下の趣旨や要領を理解の上、授業評価アンケートに協力してください。

1. 趣旨と要領
  - (1) 授業内容をより充実したものにするために、それぞれの授業の現状を把握・検討し、その改善を図ります。
  - (2) 授業に関連する施設(情報機器、体育関連施設、図書館等)をより充実したものにするためにその現状を把握し、その改善を図ります。
  - (3) 結果を公表します。
2. アンケートの回答方法
  - (1) 回答用紙は無記名です。また、学生本人が特定される情報の記載はありません。したがって、誰が回答したか全くわからないようになっています。
  - (2) 回答が成績評価等に影響を与えることはありません。

### 3 入学前の既修得単位の認定

入学前に他の大学又は短期大学等において修得した単位については、審査により、30単位を超えない範囲で本学の単位として認定される場合があります。

希望者は**1年次の授業開始日まで**に以下の申請書類を添えて教務課に提出してください。

1. 入学者の既修得単位認定願書
2. 認定希望の単位に関する証明書
3. 認定希望の単位に関する講義要項(写し)

なお、この単位認定により、修業年限の短縮・最大履修単位数の変更はありません。

## 4 欠席等に関する諸注意

### 1. 特別出席扱願について

クラブ活動等のために授業を欠席した場合は、学生課に届け出て確認を受けた上で、その旨を各科目担当教員に申し出てください。ただし、出席扱いとするかどうかは、各教員の判断に任されているので注意してください。

### 2. 欠席届について

傷病・忌引き等、やむを得ない事情により授業を欠席した場合には、欠席届を提出することができます。詳細は学生課で相談してください。

### 3. 遅延証明書について

電車の遅延によって授業中の試験や定期試験を受験できなかった場合は、必ず利用駅で遅延証明書を受け取ってください。

なお、車両(自動車、二輪車)通学での遅刻は「証明書」の発行が受けられないので、申請できません。

### 4. 教務課関係の諸届及び諸経費納入について

	諸届用紙名	備考
履修登録に関するもの	履修届	用紙はガイダンス時に配付
試験に関するもの	受験許可証	試験期間中 1 回に限り発行 (有効期限は発行日当日のみ)
	追・再試験申込書	追試験・再試験は各セメスター末に実施 (22・23ページ参照)
諸経費納入に関するもの	追・再試験料	追・再試験申込者が納入
成績に関するもの	学業成績簿	セメスターごとのガイダンス時に配付 (「成績証明書」の申し込みは学生課)

## 5 公共交通機関の運転中止や天災の場合の授業と試験について

交通機関の運転中止(運転見合わせ・不通・ストライキ)や天災(台風など)等で通学できない場合の授業と試験は、下記の通りとします。

### 1. 運転中止の対象とする交通機関

JR常磐線快速線とJR常磐線各駅停車(千代田線)の両方が、**柏駅と我孫子駅間で運転中止となった場合を対象とします。**

JR成田線、JR常磐線(快速・各駅停車)我孫子駅より取手方面、つくばエクスプレス、関東鉄道、JR武蔵野線や東武野田線などが運転中止となった場合は**対象としません。**

### 2. 運転中止による授業と試験について

運転中止状況	授業・試験対応
午前6時までに解除された場合	第1時限から開始
午前9時までに解除された場合	第3時限から開始
正午までに解除された場合	第4時限から開始
正午までに解除されない場合	1日休講(試験は延期)

### 3. 暴風警報等が発令された場合

**暴風警報**または**暴風雪警報**が千葉県北西部に発令された場合は、**交通機関の運転中止の対応と同じとします。**

他の地域に発令されても**対象になりません。**同様に、大雨警報、大雪警報、洪水警報のみの場合は**対象としません。**

- 遅刻や登校不能な場合は、交通機関の**遅延証明書**等を取得し、すみやかに学生課で手続きをしてください。
- 試験は可能な限り実施する予定ですが、状況により実施できない場合もあります。
- 延期になった試験の実施は、後日、学内の掲示板で案内します。

## 6 補講

やむを得ない理由で授業が休講になり(休講についてはP. 24を参照)、授業回数が不足した場合、**補講期間**に授業を行い休講分を補います。これを**補講**といいます。

補講についても**教務課掲示板**でお知らせします。**通常の授業時間と異なる場合**もありますので、掲示をよく確認してください。

## 7 コース変更

本学の他学部にて**転学部**を希望する者に対し、以下の要領に従って許可することがあります。

商学部では、2年次より希望のコースに分かれて学習しますが、**コースの変更を1回のみ**許可します。変更の方法・時期は以下のとおりです。

- ① 2年次の秋セメスター開始日から2年次の11月末までに**教務課**に申し出てください。
- ② 教務課に申し出た際に申請用紙を貰い、速やかに希望する**コース主任の面接**を受け、許可印を得てください。
- ③ 許可印のある申請用紙を、教務課に**2年次の秋セメスター試験終了日まで**に提出してください。

## 8 転学部

---

本学の他学部へ転学部を希望する者に対し、以下の要領に従って許可することがあります。

1. 在学期間中1回に限ります。
2. 転学部の学年は原則として2年次とする。(申請は1年次末)ただし、特別の事情がある場合に限り、3年次の転学部を認めます。
3. (2年次から転学部を希望する場合)1年次修了時に30単位以上修得していることが条件となります。  
(3年次の場合は、2年次終了時に70単位以上修得していることが条件となります。)
4. 申請手続きは、原則1年次の2月初旬です。詳細は事前に教務課に問い合わせてください。
5. 審査は書類審査と面接審査です。
6. 審査結果は3月中に通知します。
7. 許可通知後、定められた期間内に所定の手続きが行われない場合は、辞退したことになります。

## 6. 教職課程

本学では、所定の単位を修得することによって、中学校および高等学校の教員になるための各種の教育職員免許状（以下免許状と記載します）を取得することができます。日々生徒に接し、彼らを伸ばし育てていく教職は、たいへんにやりがいのある仕事です。

ただし、免許状を取得するには、大学卒業のための単位以外に多数の科目を修得することが必要で、中途半端な勉学では取得できません。卒業に向けての勉強に励むとともに、教職課程の諸科目についても1年次から明確な目的意識をもって計画的に履修することが必要です。以下の説明をよく読み、ガイダンスを受けて履修の申請をしてください。

コラム：中央学院大学のルーツと教職課程の現在

### < 建学の精神と教職課程の歴史 >

本学のルーツは、明治 33（1900）年設立の「日本橋簡易夜学校」、明治 35 年（1902）創立の「中央商業学校」まで、さかのぼることができる。イギリスで研鑽を積んだ仏教学者高楠順次郎によって実学重視の仏教系の学校として創立された。

高楠順次郎は、イギリス留学中に、紳士的で社会的地位も高いイギリス商人を目の当たりにして感銘を受けた。帰国後、日本においても、教養と倫理観を身に着けた商人の育成を行うことが急務であると考え、勤労青年を対象とする夜間学校を創立した。その後、幾多の変遷を経て、昭和 41（1966）年に中央学院大学が創立された。

大学開学 2 年後、昭和 43（1968）年、本学に教職課程が開設された。師範学校中心の太平洋戦争前の教員養成制度とは異なり、戦後は、教員養成が一般大学でも可能になったことの意義は大きい。本学でも、教職課程を開設することが可能になり、それによって、学校制度によって、勤労青年を教育しようとした創立者の精神を新たな形で具現化することができたと考えられる。実学重視の精神と戦前から商業教育を行ってきた伝統もあり、まずは、職業科教育（中学校一級普通免許状）、商業科教育（高等学校二級普通免許状）の免許の教職課程を申請し認定された。

その後、「中学校社会」、「高等学校社会」の教職課程を昭和 47（1972）年に開設することができた。大学独自の建学の精神として「公正な倫理観」をかかげるようになった本学としては、将来、市民として生きる生徒たちに社会とその営みについて教えることを目的とする教科の教職課程を開設することは当然であった。

ところで、平成元（1989）年の教育職員免許法の改正により、「高等学校社会」は、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」という 2 つの免許教科に分割された。本学では、どちらの教科も社会人を育成するための重要な教科であるという認識から、商・法両学部で、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」の教員免許が取得可能であるように課程を開設している。

さらに平成 12（2000）年、社会全体の情報化の波のなかで、教員免許法が改正され、新たに「高等学校情報」が免許教科として創設された。現代にふさわしい実学指導を行う教科として、本学では、さっそく「高校情報」のための教職課程を開設した。

## 1 取得できる免許状の種類と免許教科

商学部では、以下の教科のいずれかまたは複数の教科の免許状を取得することができます。

《表1》取得できる免許状の種類と免許教科

免許の種類	教科
中学校教諭一種免許状	社会
高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	公民
	商業
	情報

## 2 免許状を取得するための条件

免許状を取得するには、以下の4つの条件をすべて満たす必要があります。

《図1》免許状取得の条件（概要）

### 1 基礎資格（「学士」の学位）をとる

「学士」は4年制大学を卒業することによって得られる学位です。

+

### 2 「教職に関する科目」の必要単位を修得する 教員となるための基本的な資質や実践力を身につけます。

⇒表2

+

### 3 「教科に関する科目」の必要単位を修得する 教える教科について専門的に学びます。

⇒表2

+

### 4 その他の定められた科目等を修得・修了する

- ① 日本国憲法2単位を修得します。
- ② 体育2単位を修得します。
- ③ 外国語コミュニケーション科目を修得します。
- ④ 情報機器の操作に関する科目を修得します。

⇒表3

図1の概要をより詳しく説明すると、次のとおりとなります。(表2)(表3)

《表2》「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」

	必要単位数		備 考
教職に関する科目	中学校 33単位以上 高 校 25単位以上	合計 59単 位 以上	⑥の教職課程科目表に従って履修し、 必修科目および選択必修科目を含め合計 59単位以上修得すること。 (情報は61単位以上修得すること。)
教科に関する科目	20単位以上(情報以外) 36単位以上(情報)		

《表3》その他の定められた科目等

日本国憲法	「憲法(2単位)」 (人文・自然系列選択科目)の修得	
体育	「健康スポーツ実技Ⅰ」・ 「健康スポーツ実技Ⅱ」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
外国語コミュニケーション	「英会話」・ 「英語リスニング・スピーキング(LL)」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
情報機器の操作	「情報リテラシー」・ 「情報処理論」 (各2単位)の修得	1年次必修科目

### 3 履修上の注意

- ①教職課程の履修のしかたは法令改正のため入学年度により異なります。必ず自分の入学年度に対応する科目表に従って履修してください。
- ②「教職概論」は1年次の必修科目です。この科目を修得しないと、教職課程の継続履修は認められません。また、年間の修得単位数が著しく少ない場合にも、教職課程の継続履修を認められない場合があります。
- ③「教職に関する科目」の全科目及び「教科に関する科目」の一部の科目は、卒業所要単位には含まれません。(科目表参照)  
ただし、中学社会科および高校地理歴史科の「教科に関する科目」のうち、以下の科目については、最高12単位まで卒業所要単位に含むことができます。詳しくはP12「10単位の振り替えについて」を参照してください。

日本史概説Ⅰ	(2単位)	日本史概説Ⅱ	(2単位)
外国史概説Ⅰ	(2単位)	外国史概説Ⅱ	(2単位)
日本史特論Ⅰ	(2単位)	日本史特論Ⅱ	(2単位)
人文地理学概論	(2単位)	地誌学概説	(2単位)
自然地理学概論Ⅰ	(2単位)	自然地理学概論Ⅱ	(2単位)

- ④教職課程履修者は、2年次以降「教職課程受講料」として年次ごとに5,000円を納入しなければなりません。
- ⑤教職課程の連絡事項はすべて教務課掲示板でお知らせします。重要な連絡事項が多いので、毎日必ず確認してください。

## 4 教育実習生の要件

教育実習を行うには、原則として次の①～③の要件を全て満たさなければなりません。

① 4年次であること。

② 教職に関する 3年次までに配当された必修科目を以下のとおり修得済みであること。

中学校……………25単位

高等学校……………21単位

③ 実習教科については以下の要件を満たしていること。

中学校……………教科に関する科目を28単位以上修得済み

高等学校……………教科に関する科目を32単位以上修得済み

ただし、

(i) 商業科に関しては以下の科目を修得済みであること。

○「職業指導Ⅰ・Ⅱ」

○「商学総論」及び「流通システム論」

○「中級簿記Ⅰ・Ⅱ」又は「上級簿記Ⅰ・Ⅱ」

又は「プログラミングⅠ(COBOL)」及び「プログラミングⅡ(COBOL 応用)」

(ii) 情報科に関しては以下の科目を修得済みであること。

○「Web データベース」

○「ネットワーク論」

○「マルチメディア論」

○「プログラミングⅠ(C)」及び「プログラミングⅡ(C)」

又は「プログラミングⅠ(J a v a)」及び「プログラミングⅡ(J a v a)」

2・3年次の終わりには、必要な単位を修得しているか、各自、チェックしましょう。

また、教職適性についても、考えてみてください。

## 5 教職課程年間スケジュール

		1年次	2年次	3年次	4年次
春 セ メ ス タ ー	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程履修ガイダンス（プライムセミナー）</li> <li>・教職課程履修希望票提出（「教職概論」第1回授業）</li> <li>・教職科目履修登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程履修ガイダンス</li> <li>・履修個人票の提出</li> <li>・介護等体験ガイダンス</li> <li>・介護等体験申込（社会福祉施設）</li> <li>・教職科目履修登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程履修ガイダンス</li> <li>・介護等体験ガイダンス</li> <li>・介護等体験報告</li> <li>・介護等体験申込（特別支援学校）</li> <li>・教職科目履修登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程履修ガイダンス</li> <li>・教職科目履修登録</li> </ul>
	5月		教育実習予定校に打診  《介護等体験》 ・社会福祉施設5日間（5月～翌年2月）	《教育実習校決定の手続》 実習を希望する学校の 内話をとる ↓ 「教育実習依頼申込書」 を教務課に提出 ↓ 「教育実習受入依頼書」 を大学から実習校へ送付 ↓ 実習校からの承諾書で 教育実習校が決定	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 5月～11月  個別事前事後指導
	6月				
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職概論」合否発表</li> </ul>		《介護等体験》 ・特別支援学校2日間（5月～翌年2月）	
秋 セ メ ス タ ー	10月				
	11月		（教育実習報告会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習Ⅰ（授業見学）</li> <li>（教育実習報告会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習報告会</li> <li>・教職実践演習（集中）</li> <li>・教育職員免許状一括申請説明会</li> </ul>
	12月				<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許状申請書類提出（教務課）</li> </ul>
	2月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習Ⅰ（教育実習事前指導）</li> <li>・教育実習生適格判定</li> </ul>	
	3月				<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育職員免許状授与（卒業式当日）</li> </ul>

## 6 教職課程科目表

a 「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」

<各免許教科共通>

	科目区分	科目名 (注1)	配当年次	単位数	備考	修得 チェック欄
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	○教職概論	1	2		
	教育の基礎理論に関する科目	○教育原論	1	2		
		○教育心理学	2・3	2		
		○教育制度論	2・3	2		
	教育課程及び指導法に関する科目	○道徳教育	2～4	2	(注3)	
		○特別活動の指導法	2～4	2		
		○教育方法(情報処理を含む)	2・3	2		
		社会科・地理歴史科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・公民科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・公民科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		商業科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		商業科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		情報科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
	情報科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	○生徒指導及び進路指導	3	2		
		○生徒指導及び教育相談	3	2		
教育実習	○教育実習Ⅰ	3	1			
	教育実習Ⅱ	4	2	(注4)		
	○教育実習Ⅲ	4	2			
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	4	2			
教科又は教職に関する科目	地理学総合演習(自然)	2～4	2			
	地理学総合演習(人文)	2～4	2			
	○介護等体験Ⅰ	2	1			
	○介護等体験Ⅱ	3	1			
	ボランティア実習Ⅰ	2～4	2			
	ボランティア実習Ⅱ	2～4	2			
	現代教育論	2～4	2			
	教育政策と教育法	2～4	2			

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) 取得希望の免許状の種類に応じ、下記の各教科教育法を修得すること。

中学校1種免許状(社会) 「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」、「社会科・地理歴史科教育法Ⅱ」、

「社会科・公民科教育法Ⅰ」及び「社会科・公民科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(地理歴史) 「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」及び「社会科・地理歴史科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(公民) 「社会科・公民科教育法Ⅰ」及び「社会科・公民科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(商業) 「商業科教育法Ⅰ」及び「商業科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(情報) 「情報科教育法Ⅰ」及び「情報科教育法Ⅱ」

(注3) 中学校1種免許状を取得する場合、「道徳教育」を必修とする。

高等学校1種免許状のみ取得する場合、「道徳教育」は選択科目となり、表2の必要単位59単位に含めることができる。

(注4) 中学校1種免許状(社会)を取得する場合、「教育実習Ⅱ」を必修とする。

b 「教科に関する科目」

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）

科目区分	科 目 名 (注1)		単位数	備考	修 得 チェック欄
日本史及び外国史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2		
	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2		
地理学（地誌を含む）	○人文地理学概論		2		
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2		
	○地誌学概説		2		
法学、政治学	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2		
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
社会学、経済学	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2		
	経済原論 （近代経済学）Ⅰ	経済原論 （近代経済学）Ⅱ	各2		
	経済原論 （マルクス経済学）Ⅰ	経済原論 （マルクス経済学）Ⅱ	各2		
	経済学史（経済学の誕生）	経済学史（経済学の発展）	各2		
	入門公共経済学	応用公共経済学	各2		
	近代経済政策	現代経済政策	各2		
	入門国民所得論	応用国民所得論	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	消費経済学（家計と企業）	消費経済学（家計と政府）	各2		
	福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2		
	哲学、倫理学、 宗教学	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	(注2)
倫理学概論Ⅰ		倫理学概論Ⅱ	各2	(注2)	

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて計4単位選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

科目区分	科目名（注1）		単位数	備考	修得 チェック欄
日本史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2		
	○日本史特論Ⅰ	○日本史特論Ⅱ	各2		
	日本文化史Ⅰ	日本文化史Ⅱ	各2		
	日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史	各2		
	☆日本法制史		4	(注2)	
外国史	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2		
	外国史特論Ⅰ	外国史特論Ⅱ	各2		
	外国文化史Ⅰ	外国文化史Ⅱ	各2		
	経済学史（経済学の誕生）	経済学史（経済学の発展）	各2		
	☆政治史（外国政治史）		4		
	☆東洋法制史		4		
	☆西洋法制史		4		
人文地理学 及び	○人文地理学概論		2		
	人文地理学特論Ⅰ	人文地理学特論Ⅱ	各2		
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2		
	自然地理学特論Ⅰ	自然地理学特論Ⅱ	各2		
	自然地理学	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2	
地誌	○地誌学概説		2		

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、2科目の範囲で履修できる。

(注2) 「日本法制史」の卒業所要単位への算入については、P. 12を参照のこと。

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	科目名（注1）		単位数	備考	修得 チェック欄
法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2		
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
	税法Ⅰ	税法Ⅱ	各2		
	☆国際法		4		
	☆国際関係論		4		
社会学、経済学 （国際経済を含む。）	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2		
	経済原論（近代経済学）Ⅰ	経済原論（近代経済学）Ⅱ	各2		
	経済原論 （マルクス経済学）Ⅰ	経済原論 （マルクス経済学）Ⅱ	各2		
	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2		
	福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	入門国民所得論	応用国民所得論	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	入門公共経済学	応用公共経済学	各2		
	近代経済政策	現代経済政策	各2		
	国際ビジネス論	多国籍企業論	各2		
哲学、倫理学、 宗教学、心理学	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	（注2）	
	倫理学概論Ⅰ	倫理学概論Ⅱ	各2	（注2）	
	心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅱ	各2	（注2）	

（注1）○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、2科目の範囲で履修できる。

（注2）いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて8単位選択必修。

## (4) 高等学校教諭一種免許状(商業)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
職業指導	○職業指導Ⅰ	○職業指導Ⅱ	各2		
商業の 関係科目	○商学総論	○流通システム論	各2		
	初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ	各2		
	情報リテラシー	情報処理論	各2		
	○経営学総論Ⅰ	○経営学総論Ⅱ	各2		
	マーケティング論	マーケティング戦略論	各2		
	広告論	広告政策論	各2		
	株式会社と証券市場	経済と株価	各2		
	近代金融論	現代金融論	各2		
	会計学入門	会計制度論	各2		
	商業政策総論	流通政策論	各2	(注2)	
	債権法総論	債権法各論	各2		
	商法総則・会社法総論	会社法各論	各2		
	近代商業史	現代商業史	各2		
	経営管理基礎理論	経営管理応用理論	各2		
	企業の財務活動	財務的意思決定	各2		
	労務管理	人事管理	各2		
	国際通貨	外国為替	各2		
	国際ビジネス環境論		2		
	国際ビジネス戦略論(理論編)	国際ビジネス戦略論(実践編)	各2		
	国際マーケティングの基礎理論	国際マーケティング業務	各2		
	ビジネスコミュニケーション論	異文化間コミュニケーション論	各2		
	国際ビジネス実務	国際ビジネス実践	各2		
	中級簿記Ⅰ	中級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	上級簿記Ⅰ	上級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ	各2		
	会計情報論	会計情報システム論	各2		
	手形・小切手法総論	手形・小切手法各論	各2		
		数理統計学	2		
	財務諸表論	会計原則論	各2		
	財務諸表分析	企業評価論	各2		
	監査制度論	監査報告論	各2		
	管理会計総論	管理会計論	各2		
所得税務会計	法人税務会計	各2			
開発経済学	開発政策論	各2			
国際経済論(世界経済の歴史)	国際経済論(世界経済の理論)	各2			
	経営数学	2			
	経営科学	2			
	プログラミングⅠ(COBOL)	プログラミングⅡ(COBOL 応用)	各2	(注2)	
	マーケティングシステム論	マーケティング情報論	各2		
	近代中小企業論	現代中小企業論	各2		
	eコマース	コンテンツ開発	各2		

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) いずれか8単位選択必修。

## (5) 高等学校教諭一種免許状(情報)

科目区分	科目名 (注1)	単位数	*備考	修得 チェック欄
情報社会 及び情報倫理	○情報社会と倫理	2		
コンピュータ及び 情報処理 (実習を含む。)	○コンピュータコミュニケーション	2		
	○コンピュータの構成	2		
	○ソフトウェア論	2		
	○統計学	2		
	○情報数学	2		
	プログラミングⅠ(C)	2	(注2)	
	プログラミングⅡ(C)	2	(注2)	
	プログラミングⅠ(J a v a)	2	(注2)	
	プログラミングⅡ(J a v a)	2	(注2)	
	○情報科学概論	2		
情報システム (実習を含む。)	データベース	2		
	○Web データベース	2		
	○メディアデザイン	2		
	○システム設計論	2		
	○アプリケーション論	2		
情報通信 ネットワーク (実習を含む。)	○ネットワーク論	2		
	○情報環境論	2		
マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む。)	○マルチメディア論	2		
	○シミュレーション	2		
情報と職業	○情報と職業	2		

(注1) ○印のある授業科目の単位数は必ず修得すること。

(注2) プログラミングについてはⅠ・Ⅱをそろえて4単位必修。

就職課程履修科目および単位修得の方法（中学校社会科）

○印は本学教職課程必修科目

科目区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (32単位 以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2)	○教育制度論(2) ○教育心理学(2) ○教育方法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○教育方法(2)	○教育心理学(2) ○教育方法(2)	○教育心理学(2) ○教育方法(2)	○教育心理学(2) ○教育方法(2)	32単位 必修
	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	32単位 必修
日本史及び外国史 地理学(地誌を含む) 哲学・倫理 学・宗教学	○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2)	○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	8単位 必修
	○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2)	○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2)	8単位 必修
法学・政治学	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	○政治学概論Ⅰ(2) ○政治学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
社会科学・経済学	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
教科又は教職に関する科目 (6単位 以上)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
教科又は教職に関する科目 (6単位 以上)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	○経済学概論Ⅰ(2) ○経済学概論Ⅱ(2)	4単位 必修
教員免許状取得に必要なその他の科目 (10単位 以上)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	2単位 必修
	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	○英会話(1)	2単位 必修
教員免許状取得に必要なその他の科目 (10単位 以上)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	2単位 必修
	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	○健康スポーツ実践Ⅰ(1)	2単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法 (高等学校地理歴史科)

○印は本学教職課程必修科目

科目区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (20単位 以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2)	○教育心理学(2) ○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育心理学(2) ○教育心理学(2) ○特別活動の指導法(2)	○教育方法(2)	○教職実践演習(2)		25単位 必修	
						○教育実習Ⅲ(2)			
日本史		(第1～第6セメスター履修可能科目) ○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2)	○日本史特論Ⅰ(2) ○日本史特論Ⅱ(2)					8単位 必修	
		(第1～第8セメスター履修可能科目) 日本文化Ⅰ(2) 日本文化Ⅱ(2) 日本古代・中世経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2)			☆日本法制史(4)			☆印は 法学部 開設科 目	
外国史		(第1～第8セメスター履修可能科目) ○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2)						4単位 必修	9単位 以上修 得する こと
					○経済学史(経済学の誕生)(2) 経済学史(経済学の発展)(2) ☆重洋法制史(4) ☆西洋法制史(4)			☆印は 法学部 開設科 目	
人文地理 学及び自 然地理学		(第1～第6セメスター履修可能科目) ○人文地理学概論(2) ○自然地理学概論Ⅰ(2) ○自然地理学概論Ⅱ(2)						6単位 必修	
					(第3～第8セメスター履修可能科目) ○経済地理の諸問題(2) ○経済地理の諸研究(2)				
地誌		(第1～第6セメスター履修可能科目) ○地誌学概説(2)						2単位 必修	
教科又は教 科に関する 科目 (10単位 以上)		教科に関する科目、教職に関する科目の単位をあてる。 道徳教育(2) 地理学総合演習(自然)(2) 地理学総合演習(人文)(2) ○小論文実習Ⅰ(1) ○小論文実習Ⅱ(2) 現代教育論(2) 教育政策と教育法(2)						2単位 必修	
教養免許状 取得に必要 なその他の 科目 (10単位 以上)		○憲法(2)						2単位 必修	
		○情報リテラシー(2) ○情報処理論(2)						4単位 必修	
		○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)						2単位 必修	10単位 必修
		○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2単位 必修	



教職課程履修科目および単位修得の方法 (高等学校商業科)

○印は本学教職課程必修科目 △印は本学教職課程選択必修科目

科目区分 ( )内は法外必要とされる単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (25 単位以上)	○教職概論 (2)	○教育原論 (2)	○教育制度論 (2) ○教育心理学 (2) (第3～第8セメスター履修可能科目) ○特別活動の指導法 (2)	○教育心理学 (2) (第3～第6セメスター履修可能科目)	○教育方法 (2)	○教育実践演習 (2)	○教育実践演習 (2)	○教育実践演習 (2)	25 単位 必修
				○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2) (第3～第6セメスター履修可能科目)					4 単位 必修
職業指導									4 単位 必修
									4 単位 必修
教科に関する科目 (20 単位以上)									59 単位 以上修得すること
									△印から合計8 単位 選択必修
教科又は教職に関する科目 (14 単位以上)									
教科免状状取得に必要なその他の科目 (10 単位以上)									2 単位 必修
									4 単位 必修
教科免状状取得に必要なその他の科目 (10 単位以上)									2 単位 必修
									2 単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法 (高等学校情報科)

○印は本学教職課程必修科目

科目区分 ( )内は法上必要とされる単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (25 単位以上)	○教職概論 (2)	○教育原論 (2)	(第3～第6セメスター履修可能科目) ○教育制度論 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)		○教職実践演習 (2)		○教職実践演習 (2)		25 単 位必 修
			(第3～第8セメスター履修可能科目) ○特別活動の指導法 (2)		○第5～第6セメスター履修可能科目) ○教育実習Ⅰ (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○情報科教育法Ⅰ (2) ○情報科教育法Ⅱ (2)		○教育実習Ⅲ (2)		
教科に関する科目 (30 単位以上)	○情報社会及び情報倫理 (2)		○情報社会と倫理 (2)						2 単 位必 修
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)		(第1～第8セメスター履修可能科目) ○情報数学 (2) ○情報科学概論 (2)	○コンピュータコミュニケーション (2) ○ソフトウェア論 (2) ○統計学 (2) ※プログラミングⅠ (1) (2) ※プログラミングⅡ (1) (2) ※プログラミングⅠ (Java) (2) ※プログラミングⅡ (Java) (2)		○コンピュータの構成 (2)		10 単 位必 修※ 同一 言語 Ⅰ、 Ⅱを 選択 得する こと	
教科又は教職に関する科目 (14 単位以上)	情報システム(実習を含む。)			○アプリケーション論 (2)				8 単 位必 修	
	情報リテラシー(実習を含む。)				データベース (2) ○Web データベース (2) ○メディアデザイン (2) ○システム設計論 (2)			4 単 位必 修	
教科又は教職に関する科目 (14 単位以上)	情報リテラシー(実習を含む。)				○ネットワーク論 (2) ○情報環境論 (2)			4 単 位必 修	
	情報と職業		○マルチメディア論 (2)			○シミュレーション (2)		4 単 位必 修	
教科又は教職に関する科目 (14 単位以上)	日本国憲法				○情報と職業 (2)			2 単 位必 修	
	情報機器の操作		教科に関する科目、教職に関する科目の単位をあてて。 道徳教育 (2) 地理学総合演習 (人文) (2) ○介護等体験Ⅰ (1) ○介護等体験Ⅱ (1) ボランティア実習Ⅱ (2) 現代教育論 (2) 教育政策と教育法 (2)			ボランティア実習Ⅰ (2) ボランティア実習Ⅱ (2)		2 単 位必 修	
教科又は教職に関する科目 (10 単位以上)	外国語コミュニケーション							4 単 位必 修	
	体育		○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (LL) (1) ○健康スポーツ実技Ⅰ (1) ○健康スポーツ実技Ⅱ (1)					2 単 位必 修	

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4		
	選択必修科目	商学部入門講座(1)<通年>		*初級簿記Ⅰ(2)	*初級簿記Ⅱ(2)	*経営学総論Ⅰ(2)	*経営学総論Ⅱ(2)	流通戦略論Ⅰ(2)	流通戦略論Ⅱ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(資格取得講座(初級))(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(資格取得講座(MOS Word)(2)) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2)	マルチメディア論(2)	72
		2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) 経済法Ⅰ(2)	産業界心理学(2) 人事教育心理学(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅱ(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 情報と職業(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 国際流通システム論(2)			
		3年次～	(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) 経済原論(近代経済学)Ⅰ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅰ(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) プログラミングⅠ(COBOL)(2) プログラミングⅠ(C)(2) プログラミングⅠ(Java)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) 経済学史(経済学の発展)(2) プログラミングⅡ(COBOL)(2) プログラミングⅡ(C)(2) プログラミングⅡ(Java)(2)					
4年次～		(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) 入門公共経済学(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	演習Ⅲ(4)<通年>	演習Ⅳ(4)<通年>						
必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現Ⅱ(2)	演習Ⅰ(4)<通年>	演習Ⅱ(4)<通年>	外国書講読Ⅰ(2)	外国書講読Ⅱ(2)	外国書講読Ⅲ(2)	外国書講読Ⅳ(2)	6		
人文・自然系列科目	選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 応用法学(2) 心理学Ⅱ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 日本語操作Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 日本語操作Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	20	
	BJP ※		キャリアデザインⅠ(2)	キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)						
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティングⅠ(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティングⅡ(1)	総合英語Ⅰ(1)	総合英語Ⅱ(1)				6		
	選択科目	英語特別講座Ⅰ(1)	英語特別講座Ⅱ(1)	英語特別講座Ⅲ(1)	英語特別講座Ⅳ(1)			(4)(商学系列振替可)			
		中国語Ⅰ(1) フランス語Ⅰ(1) ドイツ語Ⅰ(1) ロシア語Ⅰ(1)	中国語Ⅱ(1) フランス語Ⅱ(1) ドイツ語Ⅱ(1) ロシア語Ⅱ(1)	英語上級講座Ⅰ(1)	英語上級講座Ⅱ(1)	英語上級講座Ⅲ(1)	英語上級講座Ⅳ(1)	(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)			
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)					2			
日本語科目及び 日本事情に 関する科目 (留学生)	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)		
	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)				4 ( 人文・自然系列選択科目 へ振替可 )		
	留学生選択科目	日本語読解Ⅰ(1) 日本語作文Ⅰ(1) 日本語表記Ⅰ(1) 日本語会話Ⅰ(1)	日本語読解Ⅱ(1) 日本語作文Ⅱ(1) 日本語表記Ⅱ(1) 日本語会話Ⅱ(1)	日本語上級Ⅰ(1) 日本語上級Ⅲ(1) 日本語特講Ⅰ(1) 日本語理解Ⅰ(1)	日本語上級Ⅱ(1) 日本語上級Ⅳ(1) 日本語特講Ⅱ(1) 日本語理解Ⅱ(1)				12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可		

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			経営学総論Ⅰ(2) 商学総論(2) 近代商業史(2) 初級簿記Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 流通システム論(2) 現代商業史(2) 初級簿記Ⅱ(2)	経営管理基礎理論(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営管理応用理論(2) 経営組織論Ⅱ(2)	企業の財務活動(2) 財務的意思決定(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～8セメから各2単位選択	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) マルメディア論(2)	
		2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	人事教育心理学(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
		3年次～				(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2) 福祉国家の歴史的背景(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) 経済原論(近代経済学)Ⅰ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅰ(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) プログラミングⅠ(COBOL)(2) プログラミングⅠ(C)(2) プログラミングⅠ(Java)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) 経済学史(経済学の発展)(2) プログラミングⅡ(COBOL応用)(2) プログラミングⅡ(C)(2) プログラミングⅡ(Java)(2)	72
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) 入門公共経済学(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2)	国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2)		
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	演習Ⅲ(4)<通年> 外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現Ⅱ(2)						6	
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 応用法学(2) 心理学Ⅱ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 日本語操作Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 日本語操作Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	20
	BJP ※			キャリアデザインⅠ(2)		キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6	
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
		中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)					
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)	
日本語科目及び 日本事情に関する科目 (留学生)	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)				4 (人文・自然系列選択科目) へ振替可	
	留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級3(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級2(1) 日本語上級4(1) 日本語特講2(1) 日本語理解2(1)				12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可	

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)	国際貿易理論(2)	国際貿易政策(2)	国際ビジネス戦略論(理論編)(2)	国際ビジネス戦略論(実践編)(2)	ビジネスコミュニケーション論(2)	異文化間コミュニケーション論(2)	4	
	選択必修科目		国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)	国際マーケティングの基礎理論(2)	国際マーケティング業務(2)	国際ビジネス実務(2)	国際ビジネス実践(2)		16	
		商学部入門講座(1)<通年>						商学部卒業講座Ⅰ(学生会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学生会講座)(1)<通年>		第3～8セメから各2単位選択	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	マルチメディア論(2)	
	2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法・小切手法総論(2) 開発政策論(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2)	産業界心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)				
3年次～	(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 経済原論(近代経済学)Ⅰ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅰ(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) プログラミングⅠ(COBOL)(2) プログラミングⅠ(C)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) 経済学史(経済学の発展)(2) プログラミングⅡ(COBOL応用)(2) プログラミングⅡ(C)(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) プログラミングⅠ(Java)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2) プログラミングⅡ(Java)(2)					72		
4年次～	(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 財務諸表論(2) 入門公共経済学(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 会計原則論(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)									
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年>						
人文・自然系列科目	必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現Ⅱ(2)		演習Ⅲ(4)<通年>	外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	6	
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 応用法学(2) 心理学Ⅱ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2) 日本語操作Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 日本語操作Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	20	
	BJP ※			キャリアデザインⅠ(2)		キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)					6	
	選択科目	中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)			(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)							2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)					(4)(商学系列振替可)	
	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)					4 (人文・自然系列選択科目へ振替可)	
留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級3(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級2(1) 日本語上級4(1) 日本語特講2(1) 日本語理解2(1)					12単位までは (人文・自然系列選択科目へ振替可)		

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			*中級簿記Ⅰ(2) *上級簿記Ⅰ(2) #会計学入門(2)	*中級簿記Ⅱ(2) *上級簿記Ⅱ(2) #会計制度論(2)	#財務諸表論(2)	#会計原則論(2)	*管理会計総論(2) *法人税財務会計(2) 商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	16 第3・4セメの*から各2単位選択 第7・8セメから各2単位選択 #印の科目は必須	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) マルチメディア論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	
		2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座(事前研修) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2)	産業界心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
		3年次～				(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メディアデザイン(2) 経済原論(近代経済学)Ⅰ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅰ(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) プログラミングⅠ(COBOL)(2) プログラミングⅠ(C)(2) プログラミングⅠ(Java)(2)	企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) 経済学史(経済学の発展)(2) プログラミングⅡ(COBOL)Ⅱ(2) プログラミングⅡ(C)(2) プログラミングⅡ(Java)(2)	72
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 入門公共経済学(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)		
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現Ⅱ(2)						6	
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 物理学Ⅰ(2) 心理学Ⅱ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 日本語操作Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 日本語操作Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	20
	BJP ※			キャリアデザインⅠ(2)	キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6	
	選択科目	中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) ロシア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) ロシア語2(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)		
	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2	
体育科目	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)			(4)(商学系列振替可)		
日本語科目及び 日本事情に関する科目 (留学生)	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)				4 { 人文・自然系列選択科目 } へ振替可	
	留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級3(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級2(1) 日本語上級4(1) 日本語特講2(1) 日本語理解2(1)			12単位までは { 人文・自然系列選択科目 } へ振替可		

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目	商学部入門講座(1)<通年>		*経済原論(近代経済学)I(2) *経済原論(マルクス経済学)I(2) #経済学史(経済の誕生)(2)	*経済原論(近代経済学)II(2) *経済原論(マルクス経済学)II(2) #経済学史(経済の発展)(2)	#入門公共経済学(2)	#応用公共経済学(2)	近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 商学部卒業講座I(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座II(学友会講座)(1)<通年>	16 第3・4セメの*から各2単位選択 第7・8セメから各2単位選択 #印の科目は必須	
	共通選択科目	1年次~	(第1~第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記I(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記II(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座I(2)	情報科学概論(2) マルメディア論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座II(2)	
	2年次~			(第3~第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームI」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームII」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の実用(2) 開発政策論(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論I(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	人事教育心理学(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策I(2) 税法I(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法I(2) 国際流通論(2)	社会政策II(2) 税法II(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株債(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法II(2) 国際流通システム論(2)	
	3年次~					(第5~第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メディアデザイン(2) 中級簿記I(2) 上級簿記I(2) 会計学入門(2) プログラミングI(COBOL)(2) プログラミングI(C)(2) プログラミングI(Java)(2)	企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2) 中級簿記II(2) 上級簿記II(2) 会計制度論(2) プログラミングII(COBOL応用)(2) プログラミングII(C)(2) プログラミングII(Java)(2)	72
4年次~							(第7~第8セメスター履修可能科目) 経営学総論I(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論I(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論I(2)	経営学総論II(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論II(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論II(2)		
			演習I(4)<通年>		演習II(4)<通年>					
					外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	日本語表現I(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現II(2)						6	
	選択科目	哲学I(2) 論理学I(2) 社会学I(2) 自然科学概論I(2) スポーツ健康科学概論I(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」I(2) 生物学I(2) 文化人類学I(2)	哲学II(2) 論理学II(2) 社会学II(2) 自然科学概論II(2) スポーツ健康科学概論II(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」II(2) 生物学II(2) 文化人類学II(2)	倫理学I(2) 言語学I(2) 基礎法学(2) 心理学I(2) 総合講座「人間と自然」I(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」I(2) 外国文化研究I(2) 現代社会論I(2)	倫理学II(2) 言語学II(2) 応用法学(2) 心理学II(2) 総合講座「人間と自然」II(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」II(2) 外国文化研究II(2) 現代社会論II(2)	経済学I(2) 数学I(2) 物理学I(2) 歴史学(世界史)I(2) 歴史学(日本史)I(2) 日本語操作I(2) 総合講座「現代社会を考える」I(2)	経済学II(2) 数学II(2) 物理学II(2) 歴史学(世界史)II(2) 歴史学(日本史)II(2) 日本語操作II(2) 総合講座「現代社会を考える」II(2)	政治学I(2) 地学I(2) 人文地理学I(2) 自然地理学I(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学I(2) 文学演習I(2)	政治学II(2) 地学II(2) 人文地理学II(2) 自然地理学II(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学II(2) 文学演習II(2)	20
	BJP ※			キャリアデザインI(2)		キャリアデザインII(2)	キャリアデザインIII(2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6	
	選択科目	中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)		
	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)						(4)(商学系列振替可)		
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技I(1)	健康スポーツ実技II(1)						2	
	選択科目			スポーツ文化実技I(1) 生涯スポーツ実技I(1)	スポーツ文化実技II(1) 生涯スポーツ実技II(1)				(4)(商学系列振替可)	
日本語科目及び 日本事情に関する科目 (留学生)	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)				4 { 人文・自然系列選択科目 へ振替可 }	
	留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級3(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級2(1) 日本語上級4(1) 日本語特講2(1) 日本語理解2(1)			12単位までは { 人文・自然系列選択科目 へ振替可 }		

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目	商学部入門講座(1)<通年>		コンピュータコミュニケーション(2) プログラミング I (COBOL) (2) プログラミング I (C) (2) プログラミング I (Java) (2)	アプリケーション論(2) プログラミング II (COBOL応用) (2) プログラミング II (C) (2) プログラミング II (Java) (2)	コンピュータの構成(2) 情報環境論(2) データベース(2)	システム設計論(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2)	シミュレーション(2) e-コマース(2) 経営科学(2) コンテンツ開発(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～8セメから各2単位選択	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 流通システム論(2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	民法総則(2) 物権法(2) 日本古代・中世経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 経営数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	情報科学概論(2) マルチメディア論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座 II (2)				
		2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 流通政策論(2) 市場論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸問題(2) 経済地理の諸研究(2) 入門計量経済学(2) 応用計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 会社法各論(2) 労働法の基礎(2) 労働法の応用(2) 開発経済学(2) 開発政策論(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲーム I」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲーム II」(2)	産業界心理学(2) 人事教育心理学(2) 広告論(2) 広告政策論(2) 原価計算論 I (2) 原価計算論 II (2) 消費経済学(家計と企業)(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 近代金融論(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法総論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	社会政策 I (2) 社会政策 II (2) 税法 I (2) 税法 II (2) 会計情報論(2) 会計情報システム論(2) 入門国民所得論(2) 応用国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 経済と株価(2) 統計学(2) 数理統計学(2) 債権法総論(2) 債権法各論(2) 近代日本経済論(2) 現代日本経済論(2) 経済法 I (2) 経済法 II (2) 国際流通論(2) 国際流通システム論(2)					
		3年次～	(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 人事管理(2) 監査制度論(2) 監査報告論(2) 近代中小企業論(2) 現代中小企業論(2) 会計学入門(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学) I (2) 経済原論(近代経済学) II (2) 経済原論(マルクス経済学) I (2) 経済原論(マルクス経済学) II (2) 経済学史(経済学の誕生)(2) 経済学史(経済学の発展)(2) メディアデザイン(2)	財務諸表分析(2) 企業評価論(2) 福祉国家の歴史的背景(2) 福祉国家の理論的背景(2) 近代商業史(2) 現代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際貿易政策(2) 国際ビジネス論(2) 多国籍企業論(2) 国際通貨(2) 外国為替(2) 中級簿記 I (2) 中級簿記 II (2) 上級簿記 I (2) 上級簿記 II (2)					72	
		4年次～	(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論 I (2) 経営学総論 II (2) 経営管理基礎理論(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 国際マーケティング業務(2) 財務諸表論(2) 会計原則論(2) 入門公共経済学(2) 応用公共経済学(2) 流通戦略論 I (2) 流通戦略論 II (2) 企業の財務活動(2) 財務的意思決定(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計総論(2) 管理会計論(2) 所得税財務会計(2) 法人税務会計(2) 近代経済政策(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) 経営組織論 I (2) 経営組織論 II (2)							
			演習 I (4)<通年>	演習 II (4)<通年>	外国書講読 I (2)	外国書講読 II (2)	外国書講読 III (2)	外国書講読 IV (2)		
	人文・自然系列科目	必修科目	日本語表現 I (2) 日本語表現 II (2) プロゼミナール(2)<通年>							6
		選択科目	哲学 I (2) 哲学 II (2) 論理学 I (2) 論理学 II (2) 社会学 I (2) 社会学 II (2) 自然科学概論 I (2) 自然科学概論 II (2) スポーツ健康科学概論 I (2) スポーツ健康科学概論 II (2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」 I (2) 生物学 I (2) 生物学 II (2) 文化人類学 I (2) 文化人類学 II (2)	倫理学 I (2) 倫理学 II (2) 言語学 I (2) 言語学 II (2) 基礎法(2) 応用法(2) 心理学 I (2) 心理学 II (2) 総合講座「人間と自然」 I (2) 総合講座「人間と自然」 II (2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」 II (2) 外国文化研究 I (2) 外国文化研究 II (2) 現代社会論 I (2) 現代社会論 II (2)	経済学 I (2) 経済学 II (2) 数学 I (2) 数学 II (2) 物理学 I (2) 物理学 II (2) 歴史学(世界史) I (2) 歴史学(世界史) II (2) 歴史学(日本史) I (2) 歴史学(日本史) II (2) 総合講座「アクティブセンター」 I (2) 総合講座「アクティブセンター」 II (2) 日本語操作法 I (2) 日本語操作法 II (2) 総合講座「現代社会を考える」 I (2) 総合講座「現代社会を考える」 II (2)	政治学 I (2) 政治学 II (2) 地学 I (2) 地学 II (2) 人文地理学 I (2) 人文地理学 II (2) 自然地理学 I (2) 自然地理学 II (2) 法(2) 憲法(2) 地球環境論(2) 自然環境論(2) 平和学 I (2) 平和学 II (2) 文学演習 I (2) 文学演習 II (2)	20			
		BJP ※		キャリアデザイン I (2)	キャリアデザイン II (2)	キャリアデザイン III (2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング1(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英会話1(1) 総合英会話2(1)					6		
	選択科目		英語特別講座1(1) 英語特別講座2(1) 英語上級講座1(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語特別講座4(1) 英語上級講座3(1) 英語上級講座4(1)			(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)			
			中国語1(1) 中国語2(1) フランス語1(1) フランス語2(1) ドイツ語1(1) ドイツ語2(1) コリア語1(1) コリア語2(1)	中国語3(1) 中国語4(1) フランス語3(1) フランス語4(1) ドイツ語3(1) ドイツ語4(1) コリア語3(1) コリア語4(1)			(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)			
		必修科目	健康スポーツ実技 I (1) 健康スポーツ実技 II (1)					2		
		選択科目		スポーツ文化実技 I (1) スポーツ文化実技 II (1) 生涯スポーツ実技 I (1) 生涯スポーツ実技 II (1)				(4)(商学系列振替可)		
日本語科目及び 日本事情に関する科目 (留学生)	留学生必修科目		日本事情A(2) 日本事情B(2)				4 (人文・自然系列選択科目) へ振替可			
	留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語読解2(1) 日本語作文1(1) 日本語作文2(1) 日本語表記1(1) 日本語表記2(1) 日本語会話1(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語上級3(1) 日本語上級4(1) 日本語特講1(1) 日本語特講2(1) 日本語理解1(1) 日本語理解2(1)				12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可			

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

区 分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			*スポーツキャリア実践講座Ⅰ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅱ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅲ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅳ(2)	スポーツ広報論Ⅰ(2)	スポーツ広報論Ⅱ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
				*フィットネス概論Ⅰ(2)	*フィットネス概論Ⅱ(2)	*スポーツ心理学Ⅰ(2)	*スポーツ心理学Ⅱ(2)	スポーツビジネス論Ⅰ(2)	スポーツビジネス論Ⅱ(2)	
			*スポーツ指導論Ⅰ(2)		*スポーツ指導論Ⅱ(2)	*スポーツ経営論Ⅰ(2)	*スポーツ経営論Ⅱ(2)	商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>		
			*スポーツ組織論Ⅰ(2)		*スポーツ組織論Ⅱ(2)					
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 流通システム論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(経営学検定(初級))(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2)	情報科学概論(2)	マルチメディア論(2)	
		2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 経済地理の諸研究(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) マーケティング論(2) 情報と職業(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 消費経済学(家計と政府)(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) 入門国民所得論(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
		3年次～			(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 会計学入門(2) 経済原論(近代経済学)Ⅰ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅰ(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) プログラミングⅠ(COBOL)(2) プログラミングⅠ(C)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) 経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) 経済学史(経済学の発展)(2) プログラミングⅡ(COBOL応用)(2) プログラミングⅡ(C)(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) プログラミングⅠ(Java)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 福祉国家の理論的背景(2) プログラミングⅡ(Java)(2)		
		4年次～				(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) 入門公共経済学(2) コンピュータの構成(2) 企業の財務活動(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報システム論(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 財務的意思決定(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) 経営情報論(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)			
				演習Ⅰ(4)<通年>	演習Ⅱ(4)<通年>	演習Ⅲ(4)<通年>				72
必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年>	日本語表現Ⅱ(2)			外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	6	
人文・自然系列科目	選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 応用法学(2) 心理学Ⅱ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2) 日本語操作Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 日本語操作Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 法学(2) 地球環境論(2) 平和学Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 平和学Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	20
		BJP ※		キャリアデザインⅠ(2)	キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6	
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
			中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)				(4)(商学系列振替可)
必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2		
体育科目	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)	
日本語科目及び日本事情に関する科目(留学生)	留学生必修科目			日本事情A(2)	日本事情B(2)				4 { 人文・自然系列選択科目 へ振替可 }	
	留学生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級3(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級2(1) 日本語上級4(1) 日本語特講2(1) 日本語理解2(1)				12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可	

※ BJP=ベスト・ジョブ・プログラム

# 2018

学籍番号：

---

名 前：

---

※入学時に配布し、卒業まで使用します。